

会長のページ 医師の働き方改革	河野 雅行	3
日州医談 宮崎県における医師会立看護学校の現状	赤須郁太郎	4
随 筆 ランドセルというもの	谷口 二郎	6
惜別 炭火焼きの鶏（けい）	稲倉 琢也	7
春の草木と植木市	石橋 俊秀	8
エコー・リレー（574）	松岡 文章, 小岩屋 宏	12
メディアの目 ドラマの世界で終わらない「空飛ぶクルマ」 ..	森田 博志	13
身近なお困りごと相談室	高山 桂	14
宮崎大学医学部だより（機能制御学講座－統合生理学分野－） ..	高宮 考悟	20
専門分科医会だより（泌尿器科医会）	福田聡一郎	21
ニューメンバー	中山 恵介	26
診療メモ 病理診断領域におけるAI	丸塚 浩助	56
宮大医学部学生のページ		
令和5年新歓委員会からご報告	藤崎 泰詞	58

あなたできますか？（令和3年度医師国家試験問題より）	10
あなたできますか？（番外編）（令和4年度獣医師国家試験問題より）	11
叙勲・祝賀	15
宮崎県感染症発生動向	16
各郡市医師会だより	18
日医インターネットニュースから	22
医師国保組合だより	24
会員の異動・変更報告	27
理 事 会 日 誌	34
県 医 の 動 き	38
ドクターバンク情報	39
行 事 予 定	45
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	47
ベストセラー	54
あ と が き	68

お知らせ 地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について	26
日州医事へのご意見・ご感想	43
「はまゆう随筆」原稿募集	55
郡市医師会への送付文書	60
令和5年度第80回宮崎県医師会総会	64
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください！	65
医療勤務環境改善支援センター	66
日州医事原稿募集のお知らせ	67

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

集 落

四国山地をバイクで旅しました。宮崎の椎葉、岐阜の白川郷とともに、日本三大秘境の一つとされる徳島の祖谷では、山の斜面を利用した集落を数多く見ることができます。その中でも、この写真の落合集落は景観の美しいことで知られています。

宮崎市 ささき 佐々木 きわむ 究

会長のページ

医師の働き方改革

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

労働者の過労死が社会問題となり、労働者の働き方改革が進められています。医師については、2024年度から時間外勤務の上限規制が導入され、医師の働き方改革が本格的に始まります。医療機関は、勤務医の労働時間のすべてを把握することが求められ、勤務医は、決められた時間外労働の上限を超えることができません。勿論、働く人の命と健康を守るのは社会的にも最重要課題です。しっかりしたエビデンスの下に限度時間が決められたとは承知していますが、1か月時間外労働〇〇時間未満とかの細かい規制はいかがなものでしょうか。体力やストレスは個人差もあります。例えば軽いジョギングやスイミング程度の運動でも死亡例が報告されていますし、フルマラソンを完走できる人もいます。同様に業種により基準が変えられてはいるものの、届け出によっては時間延長も認められるとの例外項目が設けられています。過労の度合いは、話し合いで融通できるものなのでしょうか。そもそも法律に例外を設けるのは、最初から不充分としか思えません。究極には研修時間まで制限されるのか。必ずしも長時間がよいとは言えませんが、ある程度までは時間と成果は比例するようです。啄木の嘆いたようでは困りますが、働いただけの見返りがあるからこそ意欲が湧くのではないのでしょうか。国の活力も同様に、労働人口減少に加えて時短となれば、生産力（国力）が落ちるのは目に見えています。

働く人の健康を守ることは重要であっても、すべてを法律で縛るのはいかがなものでしょうか。古代中国における法家（諸子百家）の商鞅が自分の作った法律で自分を罰する結果になった非悲喜劇もあるように、法が細部にわたり複雑になり過ぎれば、身動きが取れなくなる恐れもあります。

ニュースによれば、国では公務員確保のために週休3日の検討を始めているそうです。いずれ民間にもその波が押し寄せて来れば、簡単には休めない医療界では、人の確保が更に困難になります。週休3日となり祝日や盆暮れの休みを加えれば、ほぼ半分は休みです。往年の学生による「デカンショ節」の「半年は寝て暮らす」という夢のような社会が実現するとは考えもみませんでした。地域医療の維持が更に深刻になりそうで大いに不安です。しかしながら、我々医師が健康に働ける環境づくりは、国民に対して良質な医療を提供することにも連動しています。地域医療を維持しながら医療経営も安定し、本来の意味で、持続可能な医療提供体制に繋がる改革にしていきたいと思います。

(令和5年5月15日)

日州医談



宮崎県における医師会立看護学校の現状

宮崎県医師会 常任理事 あか す 赤 須 いくた ろう 郁太郎

<はじめに>

医師会立看護学校はどの地域においても地域貢献度が高く、医療機関にとってなくてはならない存在である。

にもかかわらず、県内すべての学校において医師会の一般会計より補填しなければ成り立たないほど非常に厳しい運営状況に置かれ、多くの学校が存続の岐路に立たされている。

これらの状況は特に准看護師課程において顕著である。

県内のいくつかの学校は准看護師過程を閉校し、全日制の看護師課程（レギュラーコース）のみの運営に踏み切っている。

医師会立看護学校の現状、かかえる問題点、将来像について考えたいと思う。

<現状>

令和5年4月現在の医師会立看護学校の状況は以下の通りである。

准看護師課程を閉校する学校が3校（宮崎・延岡・小林）に及んでいる。

他の准看護師過程の学校も定員割れしており、経済的な状況を鑑みればやむを得ないが、表のとおり宮崎県全体で1年間に180名の准看護師が減ることになる。

また宮崎・延岡は、これまで日中は医療機関に勤務し、夜間に授業を行う、いわゆる定時制であったが今後は日中に授業を行う全日制（レギュラーコース）に変更となるため医療機関に勤務する学生がいなくなることになる。

学 校 名	過 程	予定および現状	定 員
宮崎看護専門学校	高等課程（准看護師養成） 専門課程（看護師養成） 看護師3年過程新設（レギュラーコース）	令和7年3月 閉校 令和10年3月 閉校 令和7年入学予定	定員 100名 定員 50名
都城看護専門学校	高等課程（准看護師養成） 専門課程（看護師養成）	現状維持 現状維持	定員 45名 定員 40名
延岡看護専門学校	高等課程（准看護師養成） 専門課程（看護師養成） 看護師3年過程新設（レギュラーコース）	令和5年3月 閉校 令和8年3月 閉校 令和6年4月 開校	定員 40名 定員 40名
日向看護高等専修学校	准看護師養成	現状維持	定員 32名
小林准看護学校	准看護師養成	令和5年3月 閉校	定員 40名
児湯准看護学校	准看護師養成	現状維持	定員 20名

<問題点>

医師会立看護学校のかかえる問題は多々あるものの以下の3点に集約できると思う。

- ① 経営難
- ② 定員割れ
- ③ 生徒の質の低下

特に准看護師養成課程の学校において顕著である。

どの問題も学生が集まらないことに起因しているが、ではなぜ集まらないのだろうか？

言い換えると、なぜ人気がないのだろうか？
まずは准看護師より考えてみたい。

<考察1>准看護師は“おいしい職業”である

2年間の教育で医療機関に勤務でき、生涯ライセンス更新の必要もなく就職率100%の准看護師は実は“おいしい職業”である。

活躍の場は主にクリニックや医療・介護施設となるが、特に九州は准看護師の比率が高く、その需要は高い。

飲食店業界など景気に左右される職業と比べると、各段に安定しているし、その気になればスキルアップも望める。試験の合格率もどの学校もほとんど100%であり、卒業さえすればその後の人生は保証されているようなものである。

にもかかわらず、近年では定員割れが相次ぎ次々と閉校に追い込まれたのは前述のとおりである。これはインフォメーション不足が原因と思われる。

もっと広く世間に宣伝し、大きなメリットがあることを伝える必要がある。また准看護師という名称も気にかかる。

以前、九州医師会連合会地域医療対策協議会（令和4年度第2回各種協議会）の席上で福岡県医師会より准看護師の名称を「介護ヘルパー」に変更してはどうかとの意見が出された。准看護師の職場が施設中心であることからそのように提言されたのだが、残念ながら却下された。

例えばそのように比較的容易にライセンスが取得できて看護師なみに活躍できるという印象を与えるような名称にするなど、広く世間に認知されるような作戦展開が望まれる。「A・ナース：Assistant nurse」などどうだろうか？

<考察2>看護師はプレミアム化を

看護師は今や「医学部看護科」が主流であり、医学部卒の榮譽がもたらされる。

活躍の場は主に病院であり、7対1や10対1などの看護配置も看護師の人数で数えられ、准看護師は人数に含まれない。患者や家族に最も近い存在であるがゆえ、言葉ひとつ選んで会話する必要がある、業務内容も直接生命に関わるようなドレーン管理や排泄の測定、バイタルチェックなどを行うとともに患者の訴えに耳を傾け、いち早く危険を察知する能力が求められる。いわば「エリート集団」である。

そのため、上昇志向が強く、選ばれる学校も当然のことながらプレミアム感の高い学校から選ばれていく傾向が見受けられる。

運営にあたる責任者は、そのような時代となったことを理解しなければならない。つまり、学校にもプレミアム化が求められるのである。宮崎、延岡の学校がレギュラー化したのはそのためである。

延岡では卒後、放送大学の講義を受講することで大卒の資格を得られるようにもしている。

「医学部看護科」との競争を少しでも有利にするために、各校プレミアム化の工夫を凝らしているのである。

上昇志向の強い学生を集めるため、今後もレギュラー化や学校推薦、奨学金制度の充実や地域の病院での実習内容の質の向上などを図り、偏差値を上げていくことが求められる。

<まとめ>

准看護師と看護師とでは募集対象とする集団が異なることを考慮しなければならない。

准看護師はすでに働いている社会人であり、看護師は高校生である。ゆえにアピールするやり方が異なっている。医師会立看護学校の運営は今後も厳しいが、前述のように准看護師養成学校は広報活動、看護師養成学校はプレミアム化を行っていくことが求められる。

今年度、日向看護高等専修学校の入学試験において、これまで続いていた受験者数の定員割れが解消されたとのことであった。延岡が閉校したため人流があったものと推測されるが、それもひとつの「作戦」であることを最後に申し添えておく。

随 筆

ランドセルというもの

宮崎市 たにぐちレディースクリニック たに ぐち じ ろう
谷 口 二 郎

昨年孫娘が1年生になるとき、ランドセルを買った。一昔前まで男の子は黒、女の子は赤とほぼ100%決まっていた。しかし最近ではその他にもピンク・ブルー・ブラウン・イエロー・グリーンなどのランドセルを背負っている小学生をよく見るようになった。それでも黒、赤の子どもも半分位はいる。

孫も何色にするか悩んだ。昔の常識だったら赤かピンクを選ぶのかもしれない。何せ女の子だ。女の子らしい色を選ぶだろうと考えていた。本人に尋ねると即座に「黒」と答えた。「女の子なのに黒なの？」と私も家内も同じ声を発していた。まさか黒と答えるとは思っていなかった。

そしていよいよ入学前にランドセルが届いた。それを背負う前には「大丈夫かな？ 黒で」と思っていたのだが、少しブルーの色が入っていて中々似合う。今やジェンダーレスやダイバーシティ（多様性）の時代だ。男だから黒、女だから赤という方が古い人間なのだろう。

さて以前はランドセルを検討し始める時期は前年の夏ごろが多かったのだが、最近では入学1年前位からが多いという。中には前年の春頃に注文する人もいうから気が早い。そしてそのお金を払うのはおじーちゃん、おばーちゃんが一番多いという。それがせめてもの孫孝行と考えているのだろう。ちなみに現在ランドセルの購入平均価格は5万5,000円だという。

ランドセルが最初に登場したのは1887年（明治20年）。伊藤博文元首相が当時軍人が背負っていた軍隊用背のうを参考にして作ったと言われている。実際に使われたのは戦後しばらくしてからだ。製作されているランドセルの大きさは定められており、内寸縦31.0cm、横23.3cm以下、重さは1,000g～1,600g程度と決められ

ている。ランドセルのそのものだけでも結構重さがある。

最近ランドセルが重すぎると問題になっている。例えば小学1年～3年生の中身の入ったランドセルの重量は約4kg。それはその年齢の平均体重からすると重過ぎるという。せめて体重の10%以内が望ましい。ほとんどがそれ以上あるケースが多いので、3人に1人が腰、背中、肩などの痛みを訴えるそう。それはまるで老年寄りと同じだ。

それではなぜそんなに重いのか？ それはまず教科書のページ数が以前に比べ増えていることだ。15年前と比べるとページ数が7割も増えているので重くなるのは当たり前だ。その上コロナの影響でタブレットが支給され、またコロナ感染予防のため、水筒持参させられる小学校も増えているという。ランドセル以外の荷物も負担になっているのだ。

ところでそもそもランドセルは学校指定品ではないので、必ずしもランドセルを背負って小学校に行かなくてもよいことは意外と知られていない。それ以外のバッグやナップサックでもOKなのだ。京都などの一部の小学校ではランドセルではなく『ランリック』というリュックが使われている。価格は1万円前後、重さは670g～760g位。小樽市では『ナップランド』というカバンを持って通学している。価格は7,700円。重さ約770g。こういうもので代用すれば持つて行く荷物を軽くすることができるかもしれない。

しかし今の日本では、ランドセルを背負って小学校に行くスタイルは変わらないことだろう。やはりランドセルは小学生のシンボルなのだから…。

随 筆

惜別 炭火焼きの鶏（けい）

宮崎市 稲倉医院 ^{いな}稲 ^{くら}倉 ^{たく}琢 ^や也

今年の3月にまたひとつ宮崎から名店が姿を消しました。加納の鶏炭火焼きの店、鶏（けい）です。卵屋さんから始めて50年以上続いた店で、その味のよさ、良心的な価格（目一杯食べて飲んでひとり3,000円程度）、なにより店主ご夫婦の人柄で、地元人からも県内外の著名人からも愛されたお店でした。特に巨人軍をはじめとするプロ野球選手、松山英樹らをはじめとするプロゴルファーなど、スポーツ選手のリピーターも数多く、閉店時には巨人軍から花束が送られてきていました。自分も過去に上田桃子選手や巨人軍選手と遭遇し感激したものです。ご夫婦二人で切り盛りされ、客がテーブルの七

輪で焼くスタイルでしたが、話に夢中になって焼きすぎたりすると、忙しい中奥さんが飛んできて指導がはいるようなアットホームな店でもありました。肉はさつま地鶏、メニューは塩焼きとにんにく味のスタミナ焼き、要予約の鶏刺しのみとシンプルでしたが、鶏のうまみとほどよい歯ごたえで、時々無性に食べたくなる味でした。もう味わえないかと思うと残念でなりません。ご夫婦の健康上の理由と昨今の鳥インフルエンザの影響で閉店の決断をされたようですが、いつか後継者が現れて再開することを切に願います。長い間、本当にお疲れ様でした。



随 筆

春の草木と植木市

延岡市 井上病院 いし石 ばし橋 とし俊 ひで秀

宮崎日日新聞の4月1日～8日までの朝刊に「春に咲く草木」の特集が組まれていた。それを参考に宮崎県内を車で走り回った。

4月8日(土)にえびの市東川有留のコカ・コーラ工場に隣接した「グリーンパークえびの」を訪れた。えびの市は熊本県と県境を接しており、宮崎県の南西に位置している。延岡市からだと、宮崎市と小林市を経由して約2時間掛かった。

敷地に12万本もの菜の花が咲き誇っていた¹⁾。約5m×5mの広さで、約7～8mの高さの芝生を敷き詰めた小高い丘が設置されていた。そこからだと全体が見渡せ、左手に人吉や熊本方面の自動車道路があり、山の斜面を回転しながら登っていた。また、反対側を見ると、「えびの高原」が広がっていた。近くには川内川(せんだいがわ)が流れていて、河川敷では熟年の男女十数名がゲートボールに興じていた。

二番目に小林市野尻町紙屋を目指した。道路の両側にツツジが植えてある所がたくさんあった。いまだ、蕾を付けていないものから満開のものまで、いろんな開花時期の花があり、面白かった。初めての道で、不安になった。そこで、「道の駅 ゆーぱるのじり」で「ツツジが沢山咲いている所」について尋ねた。そしたら、30～40歳代の若い女性が「この道(国道)を真っすぐ行ったら、10分くらいで着きます。スミちゃんラーメン萩の茶屋店というラーメン屋さんが目印です。無料の駐車場もあります。」と丁寧に教えてくださった。

小林市から宮崎市に向かう国道の左側にツツジが咲いている所が見えた。私が訪れた11時頃はたくさんの人で賑わっていた。説明板によると、「丘全体が、スミちゃんラーメン萩の茶屋の店主の個人所有で、入金箱に100円入れてください」と書いてあった。快く募金した。早速、丘を登りながら真っ赤なツツジを堪能した²⁾。下からの眺めもよかったが、上から見下ろすと、また違うようだ(写真1)。ツツジの種類は「イマショウジョウ」というらしく、約3万本もあるらしい。『管理が大変だろうなあ』と思った。私は地元、雲仙普賢岳で見かける「ミヤマクリシマ」と「イマショウジョウ」がどう違うか気になった^{*1, 2)}。

せっくなのでラーメンを食べていこうと道路を渡ろうとした。横断歩道に近づいたら、手も上げていないのにドライバーが自主的に停止くださった。以前住んでいた所では…。

お薦めのベトコンラーメンを食べてみた。さっぱりした味わいで、もやしのシャキシャキ感とメンの柔らかさがマッチしていた。付け合わせの酢漬けのダイコンは少し甘く、美味しかった。店員に尋ねると、ここと同じようなチェーン店が4か所あるとのことだった。店内には絵と詩が数点展示されていた。例えば、「今朝、庭の藪椿の幅がパッと開いた。私の胸のつかえがふっ飛んだ。私も明るくパッと生きる」など。ここで『舌と心も満たされた』。

次に宮崎市高岡町浦之名一里山地区の「シバ

ザクラ」を見物した³⁾。1,000本以上のシバザクラに畑一面が覆われていた。ピンクがほとんどだが、白いものもあった(写真2)。シバザクラを1個100円、3個セット200円、ツツジを700円で販売していた。シバザクラの鉢は病院のスタッフに分配した。

場所によってはツツジとシバザクラのコラボが見られた。串間市でもシバザクラ⁴⁾が見られるそうだ。「シバザクラ」は「桜」の一種かと思っていた。インターネット^{※3}で調べてみると、間違いだと判明した。

第58回「春のにちなん名物植木市」が、日南市総合運動公園プール横駐車場で開催中⁵⁾と知ったので行ってみた。見て楽しむ観賞用の草木(シバザクラ、マリーゴールド、ラン、八重桜、モミジ、ツツジ、アジサイ、ヤマボウシなど)だけでなく、実が食べられるもの(ミニトマト、ナス、柿、金柑、ユズ、日向夏など)が格安で販売されていた。私はカーネーションの鉢を買った。後で、病院スタッフが他の植木鉢同様に院内の通路に並べた。

飲食物の販売カーも2台来ていて、子どもたちに人気だった。なぜか「メダカ」を売っていたのが微笑ましかった。プール側にアイスクリームの自動販売機が設置されていた。この日の午後はかなり暑かったので、私も買って食べた。

4月9日(日)の午前中に日之影町七折の中川集落にチューリップを見に行った⁶⁾。地名に七折が付いているように狭いつづら折りの道が延々と続いていて、行違うのが大変だった。どうにかゴールに辿りついたら安心した。

チューリップ畑には数十人の観光客がいて、思い思いに散策されていた。花が田植えの稲の苗のようにきちんと整列されていた。黄色が最も目立っていたが、赤、白、赤と白の斑などもあった。菜の花(黄色)も綺麗だった。チューリップの球根に対する(竹製)募金箱が設置されていたので、気持ちよく硬貨を挿入した。

<追記>

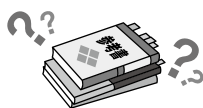
- ※1：ミヤマキリシマとイマショウジョウとの違い…
どちらもツツジ科の植物で、花の形状や色が似ていますが、生育地が異なります。イマショウジョウは、北海道から九州にかけての日本全体に分布しているのに対し、ミヤマキリシマは、九州地方にしか自生していません。
- ※2：イマショウジョウの特徴…開花時期は4月。最終樹高は1～2m。成長速度は遅く20cm/年程度。栽培適地は北海道南部から九州。
- ※3：シバザクラとは…北アメリカ原産の多年草で、芝のように地面を這って広がることからグランドカバーにも利用されます。4～5月に、直径1.5cmほどの小さな花を咲かせます。花色は濃いピンク・薄いピンク以外にも、白や紫、青っぽい色のものがあり、品種によって咲き方に個性があります。花の形がサクラに似ているのが特徴で、匍匐性が強く芝生のように地面を覆って育つことから芝桜と呼ばれます。



写真1：萩の茶屋のツツジ



写真2：ピンクと白のシバザクラ



あなたできますか？

—令和3年度 医師国家試験問題より—

(解答は33ページ)

1. 62歳の女性。息切れと全身倦怠感を主訴に来院した。7日前に発作性心房細動に対してカテーテルアブレーションが施行されており、3日前に退院していた。退院翌日に息切れと全身倦怠感が出現し、症状が徐々に増悪するため受診した。意識は清明。体温36.2℃。脈拍112/分、整。血圧88/72mmHg。血圧は吸気時に収縮期血圧が18mmHg低下する。呼吸数18/分。SpO₂95% (room air)。呼吸音に異常を認めない。心音は微弱だが雑音は聴取しない。頸静脈は怒張している。血液所見：赤血球462万、Hb13.2g/dL, Ht39%, 白血球9,700, 血小板39万。血液生化学所見：尿素窒素44mg/dL, クレアチニン1.7mg/dL, Na141mEq/L, K4.2mEq/L, Cl110mEq/L。
最も考えられる病態はどれか。
 - a 後腹膜血腫
 - b 心室中隔穿孔
 - c 肺血栓塞栓症
 - d 心タンポナーデ
 - e 完全房室ブロック
2. インスリンに関する医学史で最も新しいのはどれか。
 - a 膵臓ランゲルハンス島の発見
 - b 動物膵臓から抽出されたインスリンの精製
 - c 遺伝子工学によるヒトインスリン製剤の作製
 - d インスリンのアミノ酸配列および立体構造の解明
 - e 膵臓除去犬が尿糖を含む多尿をきたすことの発見
3. 60歳の男性。動悸と眼前暗黒感を主訴に来院した。体温36.0℃。脈拍32/分、不整。血圧82/50mmHg。呼吸数14/分。SpO₂98% (room air)。
病態と関連する可能性が最も高い検査所見はどれか。
 - a Na130mEq/L
 - b K7.0mEq/L
 - c Cl92mEq/L
 - d Ca8.0mg/dL
 - e P5.0mg/dL
4. 尖足を認め、足関節底屈20度の位置から他動的に背屈させることができない。関節可動域の足関節背屈角度の記載として正しいのはどれか。
 - a -40度
 - b -20度
 - c 0度
 - d 20度
 - e 40度
5. へき地医療拠点病院について正しいのはどれか。2つ選べ。
 - a 無医地区の巡回診療を行う。
 - b へき地保健指導所を整備する。
 - c へき地保健医療対策を策定する。
 - d へき地診療所への医師派遣を行う。
 - e 厚生労働大臣によって指定される。
6. 理学療法士や作業療法士によるリハビリテーションを受けられる介護保険施設または介護サービスはどれか。2つ選べ。
 - a 介護老人保健施設
 - b 介護老人福祉施設
 - c 通所介護（デイサービス）
 - d 小規模多機能型居宅介護サービス
 - e 通所リハビリテーション（デイケア）
7. 早期流産の原因で最も頻度が高いのはどれか。
 - a 子宮奇形
 - b 子宮筋腫
 - c 頸管無力症
 - d 胚染色体異常
 - e 抗リン脂質抗体症候群
8. 男性不妊症の原因となるのはどれか。3つ選べ。
 - a 乳幼児期の流行性耳下腺炎
 - b Klinefelter症候群
 - c 両側停留精巣
 - d 精索静脈瘤
 - e 真性包茎
9. 妊娠高血圧症候群の病型分類に含まれないのはどれか。
 - a 妊娠高血圧
 - b 妊娠蛋白尿
 - c 高血圧合併妊娠
 - d 妊娠高血圧腎症
 - e 加重型妊娠高血圧腎症
10. 患者満足度を調査対象項目とするのはどれか。
 - a 患者調査
 - b 受療行動調査
 - c 病院機能評価
 - d 医療事故調査制度
 - e 産科医療補償制度



あなたできますか？（番外編）

— 令和4年度 獣医師国家試験より —

（解答は33ページ）

今月号と来月号で「あなたできますか？」の番外編として獣医師国家試験の問題を掲載します。ぜひ挑戦してみてください。

1. 猫を飼育している高齢で一人暮らしの飼い主が事故で歩行困難となり、十分な世話ができなくなったと相談を受けた。獣医師の対応として適切でないのはどれか。
 - a 獣医師が判断することではないので、警察に相談するよう伝える。
 - b 獣医師が猫をいったん預かり、飼い主の意思を確認したのち、所有権を放棄できることを伝える。
 - c 猫の所有権に関して飼い主に確認をとり、譲渡希望するなら団体等に連絡し譲渡先を探してもらう。
 - d 保健所や動物愛護管理センターに相談するように伝える。
 - e 家族に連絡を取ってもらい、猫を預かってもらう。
2. 「身体障害者補助犬法」に関する記述として正しいのはどれか。
 - a 身体障害者補助犬とは、盲導犬、聴導犬、てんかん予知犬のことを指す。
 - b 身体障害者補助犬は公共交通機関において鉄道には同伴できるが、航空機には同伴できない。
 - c 身体障害者補助犬は救急車や病院内には同伴できない。
 - d 飲食を伴う施設には身体障害者補助犬を同伴できない。
 - e 身体障害者補助犬を同伴して各施設を利用する場合は、同伴する補助犬に関する表示や書類、行動管理の義務がある。
3. 犬の永久歯（犬歯）が萌出する時期はいつか。
 - a 20～40日齢
 - b 2～3か月齢
 - c 4～6か月齢
 - d 8～10か月齢
 - e 12～15か月齢
4. 行政機関の公衆衛生業務に携わる獣医師の主な役割として適切でないのはどれか。
 - a 食品衛生監視員として食中毒の調査を行う。
 - b 人獣共通感染症の予防のため、飼育動物との適切な触れ合い方を指導する。
 - c 家畜の改良を目的とした人工授精を行う。
 - d と畜検査員としてと畜検査を行う。
 - e 検疫所において食品の輸入届出書の受理・審査を行う。
5. 牛の右第12～13肋骨間で金属性有響音が聴取される疾患はどれか。
 - a 第一胃鼓脹症
 - b 第三胃食滞
 - c 第四胃潰瘍
 - d 第四胃右方変位
 - e 結腸鼓脹症

1. a, b 2. a, e 3. b, c
4. c, d 5. d, e
6. クラミジアによる疾患はどれか。
 - a 牛肺疫
 - b Q 熱
 - c オウム病
 - d 流行性羊流産
 - e 仮性皮疽

1. a, b 2. a, e 3. b, c
4. c, d 5. d, e
7. 枝肉の格付けのために行われる肉質等級の判断基準に含まれないのはどれか。
 - a 肉の色沢
 - b 胸最長筋面積
 - c 脂肪交雑
 - d 脂肪の色沢と質
 - e 肉の締まりおよびきめ
8. 魚類のウイルス性疾患と特徴的な組織学的病変の組合せとして適当なのはどれか。

疾 患	組織学的病変
a ギンザケの赤血球封入体症候群	鰓弁の癒合・棍棒化
b ヒラメのリンホシスチス病	口部周辺に基底細胞腫が出現
c ニジマスの伝染性造血器壊死症	脾臓組織の壊死
d マダイのイリドウイルス病	異形肥大細胞の出現
e ブリのウイルス性腹水症	神経細胞の空胞変性

エコー・リレー

(574回)

(南から北へ北から南へ)

サーフィン、だって（笑）

延岡市 延岡クリニック まつ おか ふみ あき
松 岡 文 章



20歳代のころよりゴルフを始めた。初めのころは練習によく通い、調子もよくハンディキャップも上がりコースに出るのが待ち遠しく楽しかった。しかし、悲しくも突然腰痛に襲われ約

1年間休養、ある程度の筋トレなども入れ再びコースデビュー、けど腰の調子がイマイチで不安感を覚え、何か体幹を鍛える方法は？と考えた。“そうだ！サーフィンはどう？遊びながら鍛えるのもいいじゃん！”

日向市で小学校～中学校～高校と過ごし、社会人を経て20数年前に帰郷したが世界的に有名なサーフィンスポットを目の前にしながらスルーしていた。6年ほど前から始め、通年ほぼ天候がよければ毎週土曜日には出かけている。初めの1年はロングボードを、そしてスタンドアップ・パドルサーフィンSUPなるものがあると知り、今ではそれを中心にやっている。初めはサーフボードの上に立っているのも大変だったが少しずつ波間を立つ時間も長くなりパドルを使つての方向転換、ましてやタイミングを計って波乗りをするということもできるようになってきた。まるでジェットコースターとまでは言わないがそれに近い感覚を覚え病みつきになってしまった。そしていつの間にか還暦も過ぎた。

よく行くのは金ヶ浜。県内でも上位のサーフスポットだ。近くの丘にオシャレな商業施設があり、そこのテラスからの海の眺望は素晴らしい。きっと眼下の下手なSUPボーダーをみて笑いのものになっているはずだ。“へえー、あの歳からサーフィンだって！”

[次回は、宮崎市の横田 直人先生をお願いします]

感 謝

宮崎市 こいわや循環器内科 こいわや ひろし
クリニック 小岩屋 宏



10月1日の開業からようやく半年が経過した。正直、あっという間だったが、この間に、本業の医業だけではなく、細かな物品の決定から経営まですべて自分一人の責任で決定しな

ければならない開業医の過酷さと孤独さを知った。また同時に、ここまで来るのにたくさんの方々のサポートがあったことに、あらためて感謝の気持ちでいっぱいだ。一方で、右も左も分からぬまま、先輩の開業医の先生にご相談しながら始めた発熱外来では、元旦の当番医もあり、多くのコロナ患者さんの治療にも携わった。勤務医時代には感じることはなかった、直接的な地域貢献を実感した。勤務医も楽しかったが、開業医となり、全く新しい発見もあり、充実した毎日を送っている。

クリニックでは、元々、政府系金融機関に勤務していた妻にも手伝ってもらっている。これまでは高校時代からの友人、妻、お母さんという関係だったが、これにビジネスパートナーという新しい関係性が加わった。雇用主としては時に顔色の変化が気になる（笑）、他のスタッフとは異なり、気楽に過ごしながら、目の前にある問題と一緒に対峙してくれ、医療関係者ではない分、より一般的な視点で評価してくれる彼女の存在は大きい。女性ならではの、細やかな配慮とセンスに助けられることも多い。一緒にいる時間が長くなった分、ケンカをすることも多くなったが、妻に感謝しながら、毎日のクリニック生活を享受したい。

[次回は、延岡市の和氣 聡先生をお願いします]

メディアの目



ドラマの世界で終わらない「空飛ぶクルマ」

朝日新聞 宮崎総局長
もり た ひろ し
森 田 博 志

今春まで放送されたNHK朝の連続テレビ小説は、パイロットをめざした主人公が「ばんば」を空飛ぶクルマに乗せ、長崎・五島の空に舞い上がり終わった。設定は2027年だったが、ドラマと同じ4年後に向けた取組みが、延岡市で本格化している。

延岡市は大分県佐伯市に次ぎ九州の市で2番目に大きな面積（約868平方キロメートル）を誇り、山間部も多い。県北に位置する同市はその周辺部と合わせて宮崎市の基地病院（宮崎大医学部附属病院）にドクターヘリを呼んでも医師の診察まで15分以上かかり、生命を救える可能性が低くなる「救急空白地」を数多く抱えている。

そこで延岡市は救急搬送時間を短くし、搬送中の医療措置も充実させる新たな移動手段として空飛ぶクルマに白羽の矢を立てた。昨年、デジタルを活用して地方を応援する「デジタル田園都市国家構想推進交付金」が認められ、搬送時間の短縮化のための救急モビリティ運行管理システムや救急車と搬送先病院の医療情報共有システムなどの構築に取り組んだ。今年度からは『「新技術で命を守る」スマートシティ推進事業』として5年計画でさらに前進させる。2023

年度は1億1千万円余の総事業費で、空飛ぶクルマの医療・防災利用に向けた調査・検討を本格化させ、製造企業に対して改良提案なども行う。また、助かる命を増やすため、救急車内のカメラによる搬送先医療機関へのライブ配信を可能にしたり、ドクターヘリと救急車の間で患者情報を共有したりする取組みについて順次導入していく方針という。

2012年4月、県にドクターヘリが導入された。出動回数は4千回を超え、多くの県民の救急医療を支えてきた。南北に長い宮崎では、県北の救急患者は熊本県の病院に、県南からは鹿児島県の病院へ運ぶケースもあるという。ヘリコプターより軽量で騒音も少なく小回りがきく空飛ぶクルマが救急医療に実用されれば、延岡市に限らず山間部などの救急医療体制は劇的に改善されるだろう。

空飛ぶクルマは、2025年の大阪・関西万博では会場と関西空港や大阪の中心部などを結ぶ国内初の商用運航をめざして整備が進む。もうドラマの話ではない。延岡市は壮大な推進事業について5月に市民から意見を募集した。目標の2027年に向け、構想に終わらず着実に歩みを進めてほしい。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第21回 試用期間と本採用拒否について

**Q.**

当病院では、新入職員について3か月の試用期間を設けています。これまでの職員は問題なく試用期間満了後に本採用していたのですが、この度、採用した新入職員については簡単なミスが多いうえ、勤務態度にも問題があることから、本採用を拒否して退職してもらうことを考えています。この場合、注意すべき点はありますか？

医療機関では、小さなミスによって大きな事故が生じる危険が常に存在します。そのため、医療従事者には正確な作業が求められるものの、履歴書や面接のみでは適正な判断が難しいため、本採用前に試用期間を設けている医療機関は多く存在します。

その一方、試用期間とはいえ、労働者は本採用されることを期待して勤務を行っている以上、本採用を拒否できる場合は限定されています。具体的には、本採用拒否を行うためには、①客観的に合理的な理由が存在し、②それが社会通念上相当であることが必要です。

そのため、「他にいい人を採用できた」「新しい人を採用する必要がなくなった」などの病院側の事情や、「他にもっといい人を雇用したい」などの抽象的な理由によって本採用を拒否することはできない点に注意が必要です。

ご質問のケースでは、職員の方の勤務態度に問題があるとのことですが、この場合には改善指導や面談を行って労働者本人に到達すべきレベルを理解させることが重要です。当該指導を行っても、客観的に改善が見込まれない場合には、本採用の拒否が許容される可能性があります。

もっとも、本採用を拒否する場合でも、後日の紛争を防止する観点からすれば、当該職員とよく話し合い、労働者も合意のうえで本採用を見送ることが好ましいでしょう。

なお、試用期間は合理的な範囲で行わなければなりません。そのため、合理的な理由なく1年を超える試用期間の設定は避け、3か月から6か月程度の期間とするのがよいでしょう。

(回答 弁護士法人きさらぎ 弁護士 高山 桂)

A.

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

叙勲・祝賀

瑞宝小綬章

たか みや ま き
高 宮 眞 樹 先生（宮 崎）

令和5年春の叙勲において、保健衛生功勞により瑞宝小綬章を受章されました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



高宮 先生

旭日双光章

わた なべ やす ひさ
渡 邊 康 久 先生（日 向）

令和5年春の叙勲において、保健衛生功勞により旭日双光章を受章されました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



渡邊 先生



宮崎県感染症発生動向 ～4月～

令和5年4月3日～令和5年4月30日（第14週～第17週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核9例（男性7例・女性2例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症

2例：宮崎市，小林保健

所管内から報告があった。年齢は40歳代と70歳代で，いずれも無症状病原体保有者であった。原因菌はO血清群不明（VT2），O115（VT1）であった。

4類：○つつが虫病1例：小林保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，主な症状として発熱，刺し口，発疹がみられた。

○日本紅斑熱1例：高鍋保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，ダニの刺し口があった。主な症状として発熱，発疹，肝機能異常がみられた。

5類：○クロイツフェルト・ヤコブ病1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，病型は古典型クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）であった。診断の確実度は，ほぼ確実に，主な症状として進行性認知症，ミオクロヌス，錐体路症状，小脳症状，視覚異常，無動性無言状態，記憶障害，精神・知能障害がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳で，主な症状としてショック，腎不全，軟部組織炎，中枢神経症状がみられた。

○梅毒15例（男性6例・女性9例）：宮崎市（9例），都城（4例），延岡（2例）保健所管内から報告があった。年齢別報告数は【表3】，病型別報告数は【表4】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，扁平コンジローマがみられた。

○播種性クリプトコックス症2例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は20歳代と50歳代で，主な症状として頭痛，発熱，中枢神経系病変，真菌血症がみられた。

○百日咳1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳の男児で，主な症状として咳がみられた。ワクチン接種歴はなかった。

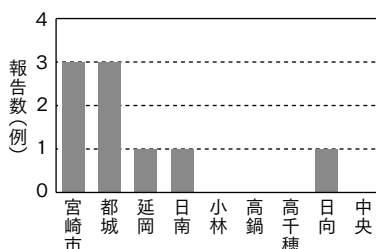


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	3
その他の結核（尿路結核）	1
無症状病原体保有者	5

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
50歳代	2
60歳代	3
70歳代	2
80歳代	2

表3 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
10歳代	3
20歳代	3
30歳代	4
40歳代	4
50歳代	1

表4 梅毒 病型別報告数(例)

早期顕症梅毒Ⅰ期	6
早期顕症梅毒Ⅱ期	6
無症状病原体保有者	3

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は2,551人（定点あたり69.9）で，前月の73%，例年の159%であった。

前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎，手足口病及びヘルパンギーナで，減少した主な疾患はインフルエンザ，感染性胃腸炎及び水痘であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ，咽頭結

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
細菌	EPEC (OUT:HUT)	2
	EPEC (OUT:H40)	1
	Salmonella Schleissheim (O4:b:-)	1
ウイルス	Influenza virus AH3	17
	Influenza virus B (Victoria lineage)	2
	Coxsackievirus A9	1
	Parainfluenza virus 3	1

膜熱，感染性胃腸炎，手足口病及びヘルパンギーナであった。

感染性胃腸炎の報告数は1,383人（38.4）で前月の約0.9倍，例年の約2.0倍であった。都城（71.5），日南（69.0），小林（58.3）保健所からの報告が多く，1歳から5歳が全体の6割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は215人（6.0）で前月の約3.4倍，例年の約68.9倍であった。宮崎市（10.2），都城（10.0），高鍋（8.5）保健所からの報告が多く，1歳から4歳が全体の約8割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向〈2023年4月〉

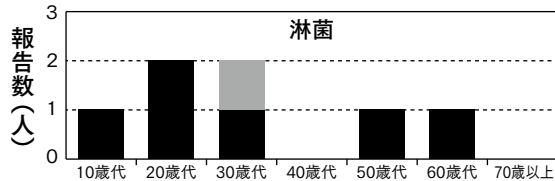
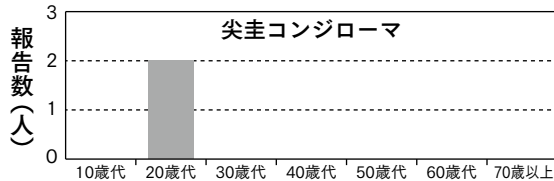
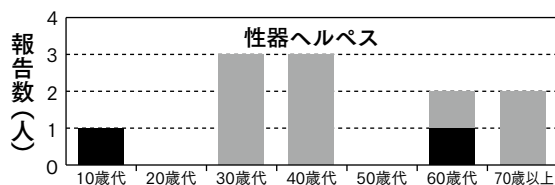
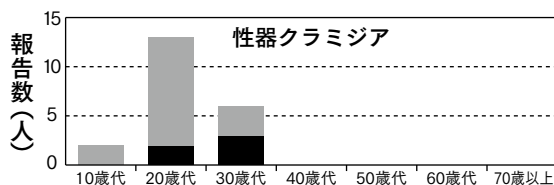
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は41人（3.2）で，前月比100％と横ばいであった。また，昨年4月（2.2）の約1.4倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数21人（1.6）で，前月及び昨年4月の約0.9倍であった。20歳代が全体の約6割を占めた。（男性5人・女性16人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数11人（0.85）で，前月の約1.4倍，昨年4月の5.5倍であった。（男性2人・女性9人）
- 尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で，前月の約0.4倍であった。（女性2人，昨年報告なし）
- 淋菌感染症：報告数7人（0.54）で，前月及び昨年4月の約1.8倍であった。（男性6人・女性1人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は16人（2.3）で，前月比94％と減少した。また，昨年4月（3.1）の約0.7倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数16人（2.3）で，前月の約0.9倍，昨年4月の約0.7倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

前月との比較

	2023年4月		2023年3月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	325	5.6	1,891	32.6	★
RSウイルス感染症	257	7.1	120	3.3	
咽頭結膜熱	72	2.0	80	2.2	★
※溶レン菌咽頭炎	140	3.9	98	2.7	
感染性胃腸炎	1,383	38.4	1,563	43.4	★
水痘	21	0.6	25	0.7	
手足口病	41	1.1	7	0.2	★
伝染性紅斑	3	0.1	2	0.1	
突発性発しん	72	2.0	80	2.2	
ヘルパンギーナ	215	6.0	64	1.8	★
流行性耳下腺炎	4	0.1	7	0.2	
急性出血性結膜炎	0	0.0	2	0.3	
流行性角結膜炎	18	3.0	34	5.7	
細菌性髄膜炎	0	0.0	1	0.1	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

各郡市医師会だより

宮 崎 市 郡 医 師 会

宮崎市郡医師会病院は令和4年4月に基幹型臨床研修病院に指定され、その年にはじめて初期臨床研修医を1名受け入れました。3月30日の卒後臨床研修委員会において全員一致で進級が認められ無事1年目の研修が終了しました。2年次は当院で研修できない内分泌・代謝、膠原病、脳神経内科などの内科は宮崎大学医学部附属病院で、小児科は宮崎生協病院において研修することになります。また、当院救急科では宮崎大学医学部附属病院と古賀総合病院から研修医を受け入れ、当院産婦人科も大学病院からの受け入れを予定しています。令和5年度も新たに1名の初期臨床研修医を受け入れることとなり、初期研修医は2名となりました。更に当院循環器内科では令和5年度は2名の専攻医を受け入れます。令和5年度は県内での専攻医が64名となり新専門医制度開始以降最も多くなりました。県内の研修制度が充実することで将来県内において活躍する医師が増えることと思います。県内の基幹型臨床研修病院相互の連携を図ることで研修システムがボトムアップできれば更に多くの初期研修医、専攻医を受け入れることができるのではないかと思います。今年は「未来の医療を語るオールみやざき交流会」も開催でき、Face to Faceで宮崎大学医学部医学科の6年生と話すことができました。来年も多くの卒業生が県内で初期研修を始めることを期待します。

(高村 一志)

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

本年度から学童検診心臓検診委員長を拝命しました。毎年、学校では4月から6月末にかけて児童生徒の定期健康診断が行われています。特に管理が必要な心疾患や腎疾患のある子どもには、学校は保護者に学校生活管理指導表の提出を求め、それを基に取組みがすすめられます。学校での心臓検診、腎臓検診は、心疾患や腎疾患を早期に発見し、子どもたちが安心して安全に学校生活が送れ、健康的に過ごせるように実施されています。日常診療でお忙しい中、検診業務にご協力いただき、ありがとうございます。

(三嶋 和也)

延 岡 市 医 師 会

新型コロナの3年間、そんな中、心と身体のゆとりを感じられた瞬間、そうあの二刀流のスターでした。我が子の年齢の男にいつしか憧れ感動、更に尊敬。そして記憶に新しいWBC、選手スタッフすべての方がMVPでした。5/8からコロナの分類見直しとなりました。また大きな波が来るかもしれない、別のウイルスが流行するかもしれないと、我が医師会も先手先手

です。彼が感銘を受けた言葉『真剣なら知恵が出る、中途半端なら愚痴が出る、いい加減だと言いつつばかり』ん～ん、まだまだ頑張ろ。

(宝珠山 厚生)

日 向 市 東 臼 杵 郡 医 師 会

今春WBCが開催され、日本中が感動に包まれました。私は準決勝の最終回、それまで大不振だった村上選手が重圧のかかる状況下でバットを振り切り逆転打を打ったのに心が震えました。さて日本もウィズコロナに向けて方向転換しました。コロナウイルスに対する考え方が人それぞれ異なるので医療現場でもトラブルが増えると考えられます。当医師会でも侍ジャパンの戦士のように個々のがんばりとそれぞれの連携で乗り切っていければと考えています。

(田代 慎二郎)

児 湯 医 師 会

COVID-19の5類感染症への位置づけ変更に対応すべく、自律的な医療提供体制の構築が急務です。4月末に、本圏域の今後のCOVID-19

医療提供体制に関して、高鍋保健所および医療関係機関従事者（病院、医師会、消防）で会議が開催され、対応に関する情報共有・相互理解・連携強化が図られました。また、当医師会員に行った意向調査では、5月8日以降、約8割の医療施設がCOVID-19外来対応可能で、そのうち、9割が自院かかりつけ以外の患者にも対応可能、病院では約7割が入院受入れ可能との結果で、「5類化」対応に関して当会員の協力体制が確認されました。いまだ課題山積の中、第9波に対しては医師会一丸となって対応することになりますが、行政には逼迫時も含めて多面的な支援の継続が不可欠であると考えます。

（押川 克久）

西都市西児湯医師会

西都児湯医療センターの理事長解任に係る訴訟に関して、西都市が訴えを取り下げたことにより西都市側の敗訴が決定しました。しかしながら市長は、訴訟自体は正当なものであるとして自らの非を認めてはおりません。また、濱砂重仁理事長への名誉棄損とも言うべき行為に関しての謝罪もありません。新病院の建設に関してもこの数年間凍結されたままで1ミリの進展もありません。他医師会の先生方は行政との連携を密にして良好な関係を築いていただきたいと、心から願うばかりです。

（黒木 重晶）

南那珂医師会

2023年度となって、5月の連休明けからは、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類となりました。約3年前から大変な時期が続きましたが、ようやく、以前の状態に戻ることができそうです。串間市民病院では、江藤事業管理者・病院長のもとで新しい体制になって2年が経過しました。内科、外科、整形外科、泌尿器科、麻酔科の医師計10人で診療にあたっています。救急部門にも力をそそいでおり、開業医の先生方との連携をはかりながら市民の皆さまの健康を守るためがんばっています。

（黒木 和男）

西諸医師会

本年3月31日、准看護師試験に合格した12人全員の卒業生をもって小林准看護学校が閉校となり昭和34年開校以来64年の歴史が閉じられました。一抹の淋しさは感じますが卒業生みなさんの今後の活躍を期待します。同様な看護学校の閉校の話をつくつか耳にしました。若者の人口減少など諸事情はありますが看護職に興味を持ってくれるような仕掛けを考えていかねばと考える次第です。一方、老朽化による西諸医師会館の建設が検討されているところでございます。こちら淋しさ半分ワクワク半分といったところです。

（河内 謙介）

西臼杵郡医師会

来年4月から始まる、西臼杵郡3町の公立病院の統合再編に先だって、今年の4月から病床機能の転換が行われます。当院（高千穂町病院）が急性期病床と地域包括ケア病床のみに、日之影町病院が療養病床と地域包括ケア病床のみになります。五ヶ瀬町病院は今までどおり、急性期病床と療養病床です。「経営管理・経理」、「診療」、「地域連携」など、10のワーキンググループで問題点を協議しており、病院間の連携機能も強化しているところです。郡外の先生方にも今後ともよろしくお願いいたします。

（久米 修一）

宮崎大学医学部医師会

本院は感染症指定医療機関ではありませんが、行政（県市町村）や医師会と連携し県民の健康と命を守る使命のもと、新型コロナウイルス感染症への対応を実施してきました。本感染症が令和5年5月8日から5類への移行を受け、大学病院では「Withコロナに向けた」医療従事者として、これまでどおり「プラス思考でプラス行動」を行い重症患者さんの受け入れや新たなウイルス株の出現などにも臨機応変に対応する所存ですので、日常診療を含め今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。

（帖佐 悦男）

宮崎大学医学部だより

機能制御学講座 ー統合生理学分野ー



たかみや こうご
高宮 考悟 教授

私が、ここ統合生理学分野の教室主任として赴任して10年以上が経過しました。これまでさまざまな変化がありましたので、この場をおかりして皆様にご紹介いたします。

当教室は、かつての第一生理学教室で、医学部医学科2年生の神経生理学を中心とした系統講義と、3年生の神経科学というオムニバス形式の講義を担当しています。

まず系統講義では、神経系の機能を中心として神経解剖、生化学、薬理学などを交えながら包括的に神経系が理解できるように心がけています。また、私が講義することによる知識の偏りを防ぐために指定教科書を使用し、普遍的な内容から最新の研究成果に触れられるような講義内容としています。現在科学の急速な進展のために学生として学ばなければならない内容は膨大となっています。その中で、将来医師として絶対に知っておかなくてはならないこと、実際の臨床では現在学んでいる知識がどのように反映されるのか、また、卒業後彼らは今後40年程医学に携わっていくでしょうから、それを見越して学生レベルではかなり高度とは思われる知識でも、できるだけ最先端の学問に接することができるよう心がけて講義しています。

系統講義を無事終了した学生には、3年生のときに神経科学と称する講義を受けてもらいます。そこでは、臨床の先生方とタイアップし、毎週さまざまな神経関連の疾患にフォーカスをしぼり、系統講義で学んだ基礎的知識から臨床

への連続的な流れを理解してもらいたいと思って講義をデザインしています。特に、現在社会問題となっている認知症や小児の発達障害などをテーマとして取り上げています。臨床の先生方にそれらテーマに従ってお話をさせていただき、その後加えてその分野で最新の研究論文や当教室主宰で行っているセミナーの録画の一部を補助的な解説とともに紹介することで、プレゼンテーションとリサーチ能力のトレーニングになればと思っています。

私達の教室のもう一つの大きな柱である研究ですが、私がこれまでやってきた“中枢神経におけるグルタミン酸受容体を中心としたシナプス可塑性の分子制御機構の解明”を軸に研究を進めています。研究表題だけ聞くと、なにやら難しそうに聞こえますが、簡単に申しますとほとんどの神経機能に存在する“可塑性”という特徴がどのように人の神経機能にかかわっているのか、またその詳細なメカニズムはどうなっているのかを明らかとしたいと研究をしています。一例といたしまして“学習や記憶はどのようにして形成・維持されるのかを分子レベルで理解したい”ということを柱に研究を進めています。教室所属の教員として電気生理学を専門とする若園佳彦准教授、生化学・細胞生物学の実験を担当する緑川良介助教、分子生物学と電気生理学の両刀使いの内田琢助教、その他数名の研究員と大学院生より構成されています。特に内田助教は、学習障害の中で自閉スペクトラム症の原因に対し基礎医学の分野から切り開こうとしています。現在神経科学の研究を分子レベルから生物・個体レベルと幅広いテクニックを用いてひとつの研究室で総合的に研究できる環境が整っていると思っています。それではあとなにが必要かと申しますと、それをうまく方向付けて研究を展開する、まさに私の能力が問われる時期だと自分自身に言い聞かせています。

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(泌尿器科医会)

ふくだ そういちろう
福田聡一郎 会長

宮崎県泌尿器科医会の令和5年3月現在の総会員数は65名です。各市郡医師会別では宮崎市郡が30名、都城市北諸県郡が6名、延岡市が7名、日向市東臼杵郡が3名、児湯郡が1名、西都市西児湯が2名、南那珂が1名、西諸が6名、西臼杵は0名、宮崎大学医学部が9名となっており、2年前に前会長の蓑田国廣先生がご報告した際より若干会員数は減っております。会員数は少ないですが、全会員、顔が見える関係でチームワークは良好です。役員構成は副会長が永友和之、池井義彦の2名、幹事として、村上憲彦、南口尚紀、竹原俊幸、村岡敬介、小林隆彦、月野浩昌、分田裕順、黒岩顕太郎、蓑田国廣、高森大樹の10名、監事に棚田敏文、顧問は中山健の各先生にお願いしています。

当会の活動の中心は2か月ごとに開催され、今年5月で第241回を迎える泌尿器科医会です。大学の賀本敏行教授の力添えで全国トップレベルの講師をお招きし、ご講演を拝聴しています。直近の5回の内容は「尿路上皮癌診療～本音でtalk」「尿路上皮癌治療におけるエンホルツマブベドチンの役割と今後の展開」「日本泌尿器科学会の現状と行末」「男性医学の最前線」「個別化医療が進む前立腺癌治療」と多岐にわたっています。2月には県内科医会との共催で「過活動膀胱」に関する講演会も開催いたしました。また、会の中で、会員の保険診療についての理解を深めていただけるように「泌尿器科

医会の保険診療のコーナー」を立ち上げ、4人の国保・社保審査委員の持ち回りで、保険審査上の疑義などの「見える化」を図るためのディスカッションも始めています。

当科では病診連携を図るために前述の賀本教授が立ち上げました「Miu-Net（宮崎県泌尿器科連携）」を利用し基幹病院と一般診療所とが共同し患者様を診ていくシステムもうまく稼働していると自負しています。また、これを利用しまして、2018年より「MUCD（宮崎県泌尿器癌データベース）構築 宮崎県における泌尿器科癌発症率と予後に関するコホート研究」が開始され、すでに4,600例ほどの登録が済んでおります。この研究から得られる知見が、我が国の男性の罹患癌トップである前立腺癌をはじめ、膀胱癌、腎癌等の当県での早期発見や治療成績の向上、死亡率の低下につながり、更には県民の皆様の幸福に繋がることを期待しています。

ここ数年、コロナ禍で中断を余儀なくされていきます前立腺癌早期発見・治療のための県民の皆様に対しての啓発活動も再開する予定です。更に、県透析医会との共同で「腎移植」「慢性腎臓病」に関しての啓発活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

当泌尿器科医会は上記のような活動を通して県民の皆様によりよい医療を提供し、地域医療の発展に寄与していくよう努めてまいります。宮崎県医師会の先生方には、泌尿器科医会に対するご指導、ご協力、ご支援をなにとぞよろしくお願いいたします。

日医インターネットニュースから

■公的病院の6割が「導入時期未定」 — 電子処方箋導入で、厚労省調査 —

厚生労働省は4月28日に開いた「電子処方箋推進協議会」で、公的病院の電子処方箋導入計画に関する調査結果を示した。2023年度中に導入予定としたのは214施設。6割近くの414施設は、導入時期が「未定」だとした。

20日時点で調査に応じた714施設の回答をまとめた。導入時期については、「24年度中」が48施設、「25年度以降」が36施設、「導入済み」が2施設だった。

各施設からは「オンライン資格確認等システムの利用が伸び悩んでおり、導入後に電子処方箋の利用が伸びるのか疑問」「周辺薬局の対応がまだできていない」「費用負担が大きく、予算確保ができていない」といった意見があった。

厚労省は、モデル地域やすでに稼働している病院と同じく、5～6月に導入予定の公的病院6施設を中心に、地元住民向けの重点的な周知広報を図るなど、面的な拡大に取り組む方針を示した。

●最大の課題は「費用」 長島氏

長島公之構成員（日医常任理事）は、面的拡大について「1つの病院だけでやっても意味がない。できるだけ多くの医療機関・薬局の参加が必要」だと指摘。地元の医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携の重要性などを訴えた。

さらに、電子処方箋の普及が進まない最大の課題は費用面にあると強調。「国が進める医療DXなのであれば、当然費用は全額負担すべき」と訴えた。

（令和5年5月2日）

■物価・賃金高騰、医療に財政措置を — 三師会が「合同声明」 —

物価・賃金が高騰する中、日本医師会など三師会は5月10日、来月の「骨太の方針」も視野に入れ、医療や介護への財政措置を政府に求める合同声明を発表した。公定価格で運営する医科・歯科施設、薬局、介護施設は価格に転嫁することができず、「対応には十分な原資が必要」だと強調。このままでは政府が求める賃上げへの対応も困難だとして、今年度中の緊急的な措置や、2024年度トリプル改定での対応を求めている。

●医療機関の「特性を踏まえた手当を」

日医会館で開いた合同会見で、松本吉郎会長は「これまでの政府の物価高騰対策の補助金は、医療機関に対する金額が別個として設けられたわけではない」と指摘。都道府県によって、医療関連の補助金の額には「非常に差がある」とし、「金額も医療機関にとっては十分でないこともあった」と問題視した。

窮状を訴えるために、合同声明の発表に至ったと説明。「われわれとしては医療機関・薬局の特性を踏まえた手当をお願いしたい」と訴えた。

声明で求めた今年度中の「緊急的な措置」については、「診療報酬の期中改定は選択肢の一つではあるが、相当入念な調査が必要になり、ハードルが高い」とした。助成金による対応を求めていく構えだ。

●歯科材料費、水道光熱費を「上回る伸び」

会見に同席した日本薬剤師会の山本信夫会長は、後発医薬品をはじめとした供給不安や、薬価の毎年改定の影響で、「薬局経営は危機的な

状況にある」と強調した。

日本歯科医師会の堀憲郎会長は、日歯の内部調査で、歯科材料費が水道光熱費を上回る伸びになっていると説明。歯科スタッフの感染防止対策や、オンライン資格確認システムの運営コストに要する費用にも懸念を示した。

●少子化対策を踏まえ、社会保障費確保を

会見では、政府内の議論が本格化している少子化対策の財源も話題になった。

松本会長は「少子化対策の手当は必要だと思うが、かといって社会保障費を削っていいということではないと考えている。必要で十分な社会保障費はしっかり確保してほしい」と述べた。

これを受け、日薬の山本会長も「まさに同感だ。少子化対策は極めて重要な問題だが、単に社会保障費を（少子化対策に）振ればいいのかという発想には賛成しかねる」と話した。

（令和5年5月12日）

■「かかりつけ医機能報告」を創設へ — 全世代社会保障法が成立 —

かかりつけ医機能が発揮される制度整備を図る全世代社会保障法は5月12日、参院本会議で与党や国民民主党の賛成多数で可決され、成立

した。立憲民主党や日本維新の会、共産党などは反対した。

同法では「かかりつけ医機能報告」を創設する。かかりつけ医機能を医療機関が都道府県に報告するよう定める。

都道府県は報告された機能を確認した上で、地域の協議の場に報告し、公表する。具体的な報告項目などは今後、有識者らの意見を聞いて具体化する。

2025年度から施行する予定だ。既存の医療機能情報提供制度も24年度から充実・強化する。

医療法人・介護サービス事業者の経営情報に関するデータベース（DB）整備も進める。収集した情報を属性などでグルーピングし、分析結果を公表する。DB整備と分析結果の公表について、医療は今年8月1日、介護は24年度から施行する見通し。

地域医療連携推進法人制度の見直しも盛り込んだ。個人立医療機関・介護事業所などの参加も可能とする。施行は24年度の予定。

出産育児一時金の費用を後期高齢者医療制度でも支援する仕組みの創設や、高齢者負担率の見直しも進める。24年度の施行を予定している。

（令和5年5月16日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字（半角）

医師国保組合だより

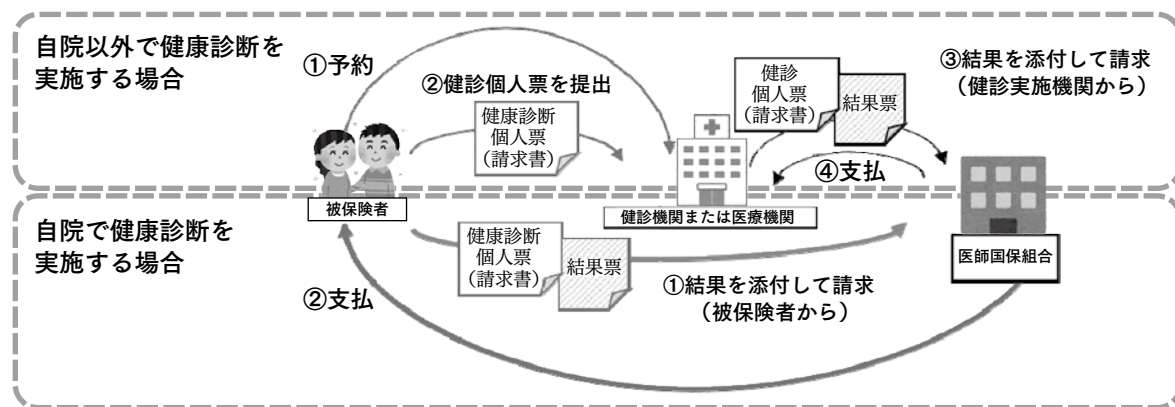
～保健事業のご案内～

組合員の先生方へ保健事業に関する申請書一式を5月下旬に送付しております。ぜひご利用ください。

実施期間および接種期間：令和5年4月1日～令和6年3月末日 請求期限：令和6年5月17日

1 健康診断

対 象 者	組合員，高齢組合員並びにその配偶者（被保険者） 上記以外の被保険者は，本年度中に満40歳になる方～74歳の方		
実施機関 など	① 健診機関並びに医療機関（自院で実施しても請求可能です）		
	② 宮崎市郡医師会病院 健診センター		
	Ⅰ 平日および土曜日…予約は直接健診センターへ（☎0985-77-9108）		
	Ⅱ 日曜日健診…予約は当組合へ（☎0985-22-6588）		
	定員各30名		
	第1回	令和5年	10月15日（第3日曜日）
	第2回	〃	11月19日（第3日曜日）
	第3回	〃	12月10日（第2日曜日）
	第4回	令和6年	1月21日（第3日曜日）
	第5回	〃	2月25日（第4日曜日）
	第6回	〃	3月10日（第2日曜日）
	第7回	〃	3月24日（第4日曜日）
	※日曜日健診オプションの胃内視鏡検査，低線量ヘリカルCT肺がん検診，マンモグラフィ検査の実施人数には制限があります（予約先着順） ※子宮頸がん検診，大腸内視鏡検査は平日のみの実施です		



2 胃・大腸内視鏡検査の補助

対 象 者	組合員，高齢組合員並びにその配偶者（被保険者） 上記以外の被保険者は，本年度中に満40歳になる方～74歳の方
補助金額	胃内視鏡検査 15,130円 大腸内視鏡検査 22,280円 ※1人1回，上記金額を上限とした実費

3 低線量ヘリカルCT肺がん検診（自己負担なし）

対 象 者	被保険者全員並びに高齢組合員
実施機関	組合にて委託している県内医療機関 ※詳細は申請書裏面または当組合Webサイト参照
申込・ 受診方法	① 医療機関へ受診の予約をしてください。 ② 検診当日は，受診券兼請求書を医療機関へご持参ください。

4 脳ドック等の補助

対 象 者	被保険者全員並びに高齢組合員
補助金額	頭部MRI, 頭部MRA, 頭部CTなど 20,000円 ※1人1回, 上記金額を上限とした実費

5 肺炎球菌ワクチン接種補助

対 象 者	被保険者全員並びに高齢組合員
補助金額	1人5,000円 ※支払額が補助額を超えた場合の差額は自己負担

6 乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助

対 象 者	いずれかに該当する被保険者 ① 女性組合員 ② 年度中に40歳～74歳になる女性（家族） <u>※下記の実施機関にて、健康診断のオプションとして実施した場合のみ助成対象</u>
実施機関	・宮崎市郡医師会病院 健診センター（☎0985-77-9108） 月～金曜日および日曜日健診（若干名） ※日曜日健診についてのお問い合わせは当組合へ（☎0985-22-6588） ・都城健康サービスセンター（☎0986-36-8700） 火・木・金曜日
補助金額	自己負担金（1,000円/人）を除いた額

7 歯科健康診査（自己負担なし）

対 象 者	被保険者全員並びに高齢組合員
実施機関	宮崎県歯科医師会の会員歯科医院
健診内容	* いずれかのコースを選択 Aコース 歯科健康診査＋歯石除去・歯のクリーニング Bコース 歯科健康診査＋歯石除去・歯のクリーニング＋フッ素塗布
申込・ 受診方法	申込書を組合宛にFAXまたはメールしてください。無料券などを人数分送付します。

<医師国保へのご加入について>

廉価な保険料で充実した保健事業を提供する医師国保への加入をご検討ください。
詳細については、当組合までお問合せください。

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保にすでにご加入の方は、事業所が法人化するなどで健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問合せください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合 〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地
TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550 E-mail：kokuho@miyazaki.med.or.jp
※各種申請書は、当組合Webサイトからダウンロードできます。
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

お知らせ

地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、5月1日から10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組めます。

会議などの場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖など）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

.....
あなたできますか？（医師国家試験問題より）（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
d	c	b	b	a, d	a, e	d	b, c, d	b	b

あなたできますか？番外編（獣医師国家試験より）（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8
a	e	c	c	5	4	b	d

**令和5年4月4日(火) 第1回全理事協議会****医師会関係
(議決事項)****1. 業務委託について**

①令和5年度新型コロナ自宅療養者への健康観察体制確保業務の委託契約について
→保健所の指示に基づき、訪問看護ステーションや医師と連携し新型コロナウイルス感染症患者の自宅療養者への健康観察等を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。なお、契約期間は4月1日から5月31日までの2か月間。

②令和5年度緩和ケア研修事業に係る業務の委託契約について
→緩和医療に携わる医療従事者を対象に、緩和ケア全般にかかわる内容や地域連携、在宅緩和ケアの内容を取り入れた研修会を開催する事業で、委託契約を締結することが承認された。

2. 審査委員の推薦について

選任基準に従い県医師会及び郡市医師会並びに専門分科医会から出された44名の推薦を承認し、うち15名を診療担当者代表として推薦することが承認された。

(報告事項)

1. 4月1日現在の会員数について
2. 3/29(水) (日医) 日医地域医療対策委員会について
3. 3/30(木) (県総合保健センター) 県健康づくり協会理事会について
4. 3/30(木) (県防災庁舎) 県新型コロナウイルス感染症対策協議会について
5. 3/29(水) (県医) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について
6. 3/31(金) 日医地域包括ケア推進委員会について
7. 4/2(日) 日医学校保健講習会について
8. 3/29(水) (県防災庁舎) 県母子保健運営協議会について
9. 3/29(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について

令和5年4月11日(火) 第2回全理事協議会**医師会関係
(議決事項)****1. 宮崎県感染症発生動向調査事業における指定届出機関の推薦について**

感染症発生動向調査事業に協力をする指定届出機関について、5類感染症移行後の新型コロナウイルス感染症患者数については、現在のインフルエンザ定点医療機関が報告することが示されている。これを受けインフルエンザ定点医療機関の辞退に伴う推薦依頼があり2医療機関を推薦することが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県保険者協議会委員の推薦について
→健康づくりに関する問題意識の共有や、医療計画及び医療費適正化計画等に関する意見を検討する協議会の任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き大塚

常任理事を推薦することが承認された。

- ②「宮崎県歯科保健推進協議会実務者会議」における委員の推薦について

→県歯科保健推進計画を策定するための実務者会議の推薦依頼があり、吉見常任理事を推薦することが承認された

3. 6/17(土) (県医) 県医師会代議員会及び総会等について

一連の行事のスケジュール案が承認された。総会については、新型コロナウイルス感染対策の面から、昨年同様、参加者を代議員等に絞っての縮小開催とするが、今回は来賓を招待し一部表彰は実施することが承認された。

4. 地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について

日本医師会が例年同様5月1日から10月31日まで地球温暖化防止のためクールビズに取り組むことが説明され、本会でも5月1日から10月31日までクールビズに取り組むこと、また、今後も毎年同時期に取り組むことが承認された。

5. 業務委託について

- ①令和5年度医療労務管理支援事業の委託契約について

→医療従事者の勤務環境改善に取り組む医療機関に対し労務環境全般にわたる支援等を実施する事業で、契約を締結することが承認された。

- ②令和5年度県立学校の児童・生徒を対象とする心臓検診の委託契約について

→各県立学校の1年生（県立中等教育学校は1年生と4年生）を対象とした心臓検診業務で、生徒1人当たり2,310円（税込）の検査料で委託契約を締結することが承認された。

- ③令和5年度県立学校児童生徒の定期健康診断における結核健康診断業務の委託契

約について

→定期健康診断の問診等で、学校医が結核の健康診断を行うことが必要と認められた場合に実施される検査業務で、委託契約を締結することが承認された。

- ④令和5年度風しん抗体検査事業の委託契約について

→県民（宮崎市民を除く）で妊娠を希望する女性とその配偶者等を対象に抗体検査を実施する事業で、委託契約を締結することが承認された。

6. 令和5年度県立学校健康管理医報酬額について

県立学校の教職員の健康管理に対する報酬額について、学校の職員数に応じた6区分で昨年と同額とすることが承認された。

7. 5/27(土) (県医) 死体検案研修会の開催について

研修会プログラムの内容が説明され会員に案内をすることが承認された。

（報告事項）

1. 4/6(木) (県医) 日医有床診療所委員会について
2. 4/8(土) (県医) All Miyazaki研修医スタートアップセミナーについて
3. 4/6(木) 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会について

医師連盟関係

（議決事項）

1. 6/17(土) (県医) 県医師連盟執行委員会について

主な議題等が説明され、昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策の面から、時間短縮をして開催することが承認された。

2. 5/28(日) (東京)「日本医師連盟医政活動研究会」開催並びにメンバーの選出について

日医連から各県医師会（医師連盟）、各郡市医師会（医師連盟）への情報共有・伝

達を主眼とした研究会で、メンバーとして医連担当役員の吉田常任執行委員、医師会組織力強化担当役員の市来常任理事が就任すること及び5/28(日)の研究会に出席することが承認された。

令和5年4月25日(火) 第1回常任理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①傷病審査委員会の専門委員の推薦等について

→休職中の県職員の職場復帰等を検討する委員会で、現職の7名（内科2名、産婦人科1名、外科1名、整形外科1名、精神科2名）の委員に、再任方向で意向を確認することが承認された。

②特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づく特別児童扶養手当及び特別障害者手当等の障害程度判定のための嘱託医の推薦について

→障害がある児童の障害程度の判定及び認定等を行う嘱託医について、小児科医1名追加推薦の依頼があり、県小児科医会に推薦を依頼することが承認された。

③宮崎県移植推進財団役員の任期満了に伴う理事の推薦について

→移植医療の普及啓発及び体制整備等を目的とした財団からの任期満了に伴う推薦依頼で、引き続き小牧副会長を推薦することが承認された。

④第73回“社会を明るくする運動”宮崎県推進委員会委員への就任及び同推進委員会への出席について

→犯罪や非行を防止し、安全で安心して暮らすことのできる明るい地域社会を

築くこと等に取り組む委員会で、河野会長が就任することが承認された。

2. 業務委託について

①令和5年度認知症地域医療支援事業の委託契約について

→認知症サポート医、かかりつけ医、病院勤務医及び医療従事者に対する研修会の開催や、患者や家族が気軽に相談できる体制整備を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

②令和5年度新型コロナ自宅療養者への健康観察体制確保業務の委託契約について（再協議）

→4月4日の全理事協議会においてに契約を締結することが承認されたが、その後、県から金額修正の依頼があったため、修正して契約をすることが承認された。

③令和5年度発達障がい早期診断支援事業の委託契約について

→発達障害の早期診断・早期発見を図ることを目的に国が行う研修への医師派遣や地域の小児科医に対する研修会を開催する事業で、契約を締結することが承認された。

④令和5年度小児在宅医療を担う人材の養成等に関する業務の委託契約について

→医療的ケア児等が地域で安心して暮らすことを目的に、小児在宅医療を担う人材を養成する研修会を開催する事業で、契約を締結することが承認された。

⑤令和5年度医療従事者確保のための救急医療利用適正化推進事業（小児救急医療）の委託契約について

→小児救急医療の適正利用に係る啓発や小児救急電話相談の利用を促進するための事業で、契約を締結することが承認された。

⑥令和5年度県立学校における長時間勤務職員に対する医師による面接指導に係る業務の委託契約について

→1か月の超過勤務が80時間を超え本人が希望する場合等に面接指導を行う事業で、1件8,800円で契約を締結することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①6/24(土) (宮崎市) 第11回呼吸療法勉強会の後援について

→呼吸療法に携わる医療従事者を対象に、質の高い呼吸管理と看護を提供することを目的に開催する勉強会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 6/30(金) (大分) 令和5年度九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議の開催並びに提出議題について

九州各県の医師会長及び医療行政のトップが一堂に会する合同会議で、河野会長が出席すること及び提出議題の取扱いについては河野会長に一任することが承認された。

5. 令和5年度学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰及び県教育長表彰被表彰候補者の推薦について

学校保健等の普及と充実に功績があった方を対象に行われる表彰で、各郡市医師会から推薦された中から、文部科学大臣表彰2名と県教育長表彰15名を推薦することが承認された。

6. 県医師会館会議室・研修室の定員等について

新型コロナウイルス感染症の感染対策として行っていた会議室等の定員を半分以上に制限する等の対応を、5月8日の5類移行を機に、マスク着用の推奨や換気など引き続き感染対策を実施しながら、平常に戻すこと等が承認された。

7. 5・6月の行事予定について

(報告事項)

1. 4/14(金) (県医) 第1回新型コロナウイルス感染症位置づけ変更に伴う医療提供体制等についての研修会について
2. 4/19(水) (県防災庁舎) 県大規模地震時医療活動訓練キックオフ会議・医療機関対応検討会について
3. 4/24(月) (県防災庁舎) 県医療審議会について
4. 4/12(水)・4/18(火) 広報委員会について
5. 4/13(木) (県医) 都道府県医師会広報担当事務連絡協議会について
6. 4/14(金) (日医) 日医勤務医委員会について
7. 4/18(火) (県防災庁舎) 県医療費適正化計画策定検討委員会について
8. 4/20(木) (県医) 病院部会・医療法人部会合同理事会について
9. 4/17(月) (県医) 九州厚生局宮崎事務所等との保険医療機関の指導計画等打合せについて
10. 4/21(金)～23(日) (東京) 日本医学会総会について
11. 4/25(火) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
12. 4/24(月) (県防災庁舎) 物価高騰支援金に関する要望について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 5/27(土) (JA-AZMホール) 定期大会代議員名簿提出について

自由民主党宮崎県支部連合会医療会支部長として河野委員長及び支部選出の代議員として山村常任執行委員他6名の名簿を提出することが承認された。

2. 県連表彰者の推薦依頼について

党籍20年以上で支部組織の拡張等に貢献した方を対象とする表彰で、年齢が高い順に10名を選定し推薦することが承認された。

県 医 の 動 き

(5月)

8	県内科医会評議員会 (Web会議) (市来常任理事他)
9	九医連常任委員会 (Web会議) (会長) 医協理事会 (河野理事長他) 医協理事・運営委員合同協議会 (Web会議) (河野理事長他) 第3回全理事協議会 (Web会議) (会長他)
11	日医医療経営検討委員会 (Web会議) (吉田常任理事) 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議) (嶋本常任理事他) 在宅医療研修会企画小委員会 (Web会議) (石川常任理事)
12	(福岡)九州地方社会保険医療協議会総会 (荒木常任理事) 日医医師会共同利用施設検討委員会 (Web会議) (市来常任理事)
13	県内科医会総会・学術講演会 (Web会議) (玉置理事) 各郡市医師会 (連盟) 役員等連絡協議会 (会長他)
14	(福岡) レジナビフェア (金丸常任理事)
15	広報委員会 (荒木常任理事他) 産業医部会理事会 (Web会議) (会長他)
16	日医監事会 (Web会議) (会長) 日医役員勉強会 (Web会議) (会長) 日医理事打合会 (Web会議) (会長) 宮大医学部認定再生医療等委員会 (大塚常任理事) 日医理事会 (Web会議) (会長)
17	支払基金審査運営協議会 (会長)
18	医協会計監査 (河野理事長他) 県警察医会協議会 (Web会議)

19	認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ 研修会 (Web会議) (石川常任理事)
20	産業医部会総会・研修会 (TV会議) (会長他)
22	県認知症疾患医療センター合同会議 (石川常任理事) 在宅医療協議会役員会 (Web会議) (石川常任理事他) 広報委員会 (荒木常任理事他)
23	都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担 当理事連絡協議会 (Web会議) (山村副会長他) 第2回常任理事協議会 (会長他)
24	都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会 (Web会議) (田畑理事)
25	社会保険医療担当者の個別指導 (大塚常任理事) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (嶋本常任理事) 県医監事監査 (会長他) 県産婦人科医会情報システム・広報委員会 (上山理事)
26	日医公衆衛生委員会 (Web会議) (峰松理事) 県内科医会誌編集委員会 (玉置理事) 学校医部会理事・評議員会 (Web会議) (会長他)
27	(三重) 男女共同参画フォーラム (荒木常任理事他) 死体検案研修会 (会長他)
28	(東京) 全国有床診療所連絡協議会常任理事会 (会長) 県小児科医会役員会 (高木常任理事) (東京) 日本医師連盟医政活動研究会 (吉田常任執行委員) 県小児科医会春季学術講演会 (高木常任理事)
30	医協理事会 (河野理事長他) 医協理事・運営委員合同協議会 (河野理事長他) 第4回全理事協議会 (会長他)

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和5年5月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 8人

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	4	1	3
放 射 線 科	1	1	0
検 診	2	0	2
老 健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 91人

	合 計
令和5年度(4/1～5/1)	1
平成16年度から累計	91

3. 求人登録 94件 319人

(人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	89	72	17	消 化 器 外 科	3	2	1
外 科	26	21	5	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	30	24	6	健 診	3	2	1
精 神 科	9	8	1	泌 尿 器 科	5	3	2
脳 神 経 外 科	10	6	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	12	9	3	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	16	14	2	皮 膚 科	4	2	2
麻 酔 科	10	8	2	婦 人 科	2	2	0
眼 科	9	7	2	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	10	9	1	人 工 透 析	8	6	2
小 児 科	4	2	2	リ ウ マ チ 科	0	0	0
呼 吸 器 科	2	2	0	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総合診療科・内科	6	5	1	診 療 科 目 不 問	3	3	0
脳 神 経 内 科	7	5	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	9	8	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	2	2	0
リハビリテーション科	5	5	0	そ の 他	9	6	3
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	319	255	64

求 人 登 録 者 (公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮 崎 市	健診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外,神内,リハ,整,循内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さから病院宮崎	宮 崎 市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼内,神内,総診,呼外,病理,乳外,整,麻,代内	9	常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国 富 町	内,外	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮 崎 市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急,緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮 崎 市	美外,形成外,外,麻(いずれか)	2	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮 崎 市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮 崎 市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮 崎 市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮 崎 市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高 岡 町	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮 崎 市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮 崎 市	泌,内,透(いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮 崎 市	内,リハ(いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮 崎 市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮 崎 市	内,整	4	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮 崎 市	総診	1	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮 崎 市	内	1	非常勤
230227	マナビヤ在宅クリニック	宮 崎 市	不問	3	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	外,脳外,内,透,眼皮,放,腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都 城 市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都 城 市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスタクリニック	都 城 市	糖内,心内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230208	医)社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社)藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医)社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230226	都城健康サービスセンター	都城市	放,消内 (いずれか)	1	常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延岡市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延岡市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延岡市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医)あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日向市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内	2	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,麻,外,眼,健診	5	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医)聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透	5	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西都市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
150002	社医)慶明会 おび中央病院	日南市	内	4	常勤・非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日南市	外,内	5	常勤・非常勤
230211	医)秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医)文誠会 百瀬病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230228	医)和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小林市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小林市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小林市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医)養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和5年5月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪) 所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台) 所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台) 所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 宮崎市上野町5-1 土地：1,260.55㎡ (381.98坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 1階 378.60㎡ 2階 391.80㎡ 3階 374.04㎡ 4階 374.04㎡ 5階 363.13㎡ 計1,881.61㎡ (570.18坪) ※駐車場あり (22台) 2階は事務所 3階は宿舍・寮8室使用可 4階は貸倉庫 所有者：宮崎市郡医師会員 谷口 二郎 たにぐちレディースクリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台) 所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり (20台) 所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyout@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

き
り
と
り
せ
ん

お名前：

ご所属：

T E L：

F A X：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和5年5月29日

6			月			
1	木	14：00 宮大医学部医の倫理委員会 15：00 (日医) 日医医療秘書認定試験委員会 19：00 医師国保組合理事会 19：00 医療安全対策Webセミナー (Web会議)	17	土	15：00 医協通常総代会 15：25 県医連執行委員会 15：45 県医定例代議員会 16：30 県医総会	国 保 審 査
2	金	15：00 県高次脳機能障がい支援連絡会議 19：00 県有床診療所協議会 4 役員会	18	日	10：00 日医認定健康スポーツ医制度 再研修会 11：00 (東京) レジナビフェア 13：00 全国有床診療所連絡協議会役員 会 (Web会議)	
3	土	16：00 (別府) 九医連常任委員会 17：00 (別府) 九州ブロック日医代議員 協議会 17：15 (別府) 九州ブロック日医代議員 連絡会議		19	月	
4	日		20	火	18：30 医協理事会 19：00 医協理事・運営委員合同協議 会 (Web会議) 終了後 第 6 回全理事協議会 (Web会議) 19：00 県整形外科医会理事会	
5	月	18：30 県循環器病対策推進協議会 18：30 県知事との懇談会		21	水	
6	火	15：00 県学校保健会理事・評議員会 16：00 学校保健及び学校安全に関する 文部科学大臣表彰及び県教育長 表彰審査会 19：00 第 1 回理事会 終了後 第 5 回全理事協議会	22	木	14：00 社会保険医療担当者の個別指導 17：00 県訪問看護ステーション連 絡協議会役員会 (Web会議)	社 保 審 査
		7	水	18：00 県連携協議会 18：30 県アイバンク協会理事会 (Web会議) 19：00 県糖尿病対策推進会議小幹事会 19：00 日本産科婦人科学会専門医制度 宮崎地方委員会	23	
8	木	14：00 県保険者協議会 19：00 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議) 19：00 宮崎信販との懇談会	24	土	11：30 県認知症高齢者グループ ホーム連絡協議会理事会 13：00 (都城市) 県産婦人科医 会新生児蘇生法講習会 13：30 県認知症高齢者グループホー ム連絡協議会総会・研修会 18：00 (東京) 九州ブロック日 医代議員連絡会議懇親会	↓
9	金	15：00 (熊本) 全国国保組合協会通常総会 15：00 県健康づくり協会理事会 17：30 宮大医学部生対象マッチング登 録説明会&県内基幹型臨床研修 病院合同説明会 18：30 県がん対策審議会	25	日	9：00 (日医) 九州ブロック日 医代議員連絡会議 9：30 (日医) 日医定例代議員会	
		10	土	18：00 県知事との懇談会	26	月
11	日	13：30 (日医) シンポジウム「未来ビ ジョン」若手医師の挑戦」	27	火	10：00 日医監事会 (Web会議) 11：00 日医役員勉強会 (Web会議) 13：00 日医理事打合会 (Web会議) 14：00 日医理事会 (Web会議) 18：00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	↓
12	月	14：00 県がん診療連携協議会 (Web会議) 19：00 広報委員会				
13	火	19：00 第 3 回常任理事協議会	28	水	15：00 労災診療指導委員会	
14	水	14：30 県移植推進財団定時評議員会 16：00 支払基金審査運営協議会 19：00 顧問弁護士との意見交換会	29	木	14：00 地方公務員災害補償基金宮崎県 支部審査会	
15	木		30	金	14：00 県個人情報保護審議会 15：00 県歯科保健推進協議会実務者会議 17：00 (大分) 九州各県保健医療福祉 主管部長・九州各県医師会長合 同会議 18：30 病院部会・医療法人部会定時総会	
16	金					

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧いただけます。

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和5年5月29日

7			月		
1	土	14:00 (福岡) 全国医師協同組合連合会職員研修会 14:00 参議院議員長峯誠政経セミナー	18	火	13:30 (日医) 日医理事会 15:00 (日医) 都道府県医師会長会議・懇親会
2	日	11:00 (大阪) レジナビフェア	19	水	
3	月	18:00 県医療審議会及び医療介護推進協議会	20	木	
4	火	18:30 第7回全理事協議会 19:00 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会	21	金	14:00 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会 19:00 医師国保組合通常組合会
5	水	14:00 日医有床診療所委員会 (Web会議) 18:30 県糖尿病・慢性腎臓病対策検討会	22	土	九州医師協同組合連合会 購買・保険部会 (Web会議) 県外科医会理事会 県外科医会総会 県整形外科医会総会 労災部会総会 県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同学会
6	木	19:00 医師国保組合理事会			
7	金				
8	土	(長崎) 九医連常任委員会 (長崎) 九州医連連絡会常任執行委員会 14:30 産業医研修会 (実地) 16:00 県専門研修プログラム合同説明会			
9	日		23	日	
10	月	19:00 広報委員会	24	月	13:30 県国民健康保険運営協議会 19:00 広報委員会
11	火	19:00 第4回常任理事協議会	25	火	18:00 医協理事会 18:30 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第8回全理事協議会 19:00 各都市医師会長協議会
12	水	16:00 支払基金審査運営協議会			
13	木	19:00 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)			
14	金	14:00 (日医) 日医勤務医委員会			
15	土		28	金	13:00 自民党県連国・県に対する政策・予算等要望ヒアリング 18:00 自民党県連政策懇談会
16	日				
17	月	(海の日)	29	土	県プライマリ・ケア研究会総会
18	火	10:00 (日医) 日医監事会 13:00 (日医) 日医理事打合せ	30	日	9:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会
※都合により、変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。			31	月	

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となる場合があります。
参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いいたします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
医療安全対策Web セミナー (Web講習会) 6月1日(木) 19:00～20:30 県医師会館 ※受講はWebのみ	医療機関におけるサイバー攻撃の具体例 SOMPOリスクマネジメント(株) 医療・介護コンサルティング部 上級コンサルタント 橋本 勝	9 (1.5)	◇主催 ※宮崎県医師協同組合 ☎0985-23-9100 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 6月8日(木) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	労働環境におけるPTSD様症状 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院 精神科 講師 船橋 英樹 生涯研修の専門研修会：2単位	69 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県皮膚科医会 学術講演会フット ケアセミナー (Web講習会) 6月9日(金) 18:50～20:00 KITENビル8階 コンベンションホ ール中会議室 ※受講は現地また はWeb	超高齢社会における日常診療でのフットケアの必要性 について ～爪白癬を含めて～ 埼玉県済生会川口総合病院 皮膚科 主任部長 高山 かおる	62 (1.0)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 ※科研製薬(株) ☎080-5983-0935 宮崎県皮膚科医会

令和5年4月号，5月号において「医療安全対策Webセミナー（Web講習会）」の開催日に誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎NST研究会 6月10日(土) 15:00～18:20 メディキット県民文化センター「イベントホール」 参加費:1,000円	当院NSTにおけるがん患者への介入について 宮崎県立宮崎病院 大山 貴子	10 (1.0)	◇主催 宮崎NST研究会 ◇共催 ※(株)大塚製薬工場 ☎0985-24-2272
	慢性腎臓病の栄養管理 横浜第一病院 院長 吉村 吾志夫	21 (1.5)	
第88回宮崎県精神科医会懇話会 6月10日(土) 17:30～19:00 アートホテル宮崎スカイタワー3階	刑事精神鑑定 ～気分障害の鑑定経過及び犯罪病理も含めて～ 鹿児島大学医学部 保健学科・保健学研究科 赤崎 安昭	70 (1.0)	◇主催 ※宮崎県精神科医会 ☎0982-37-0126 ◇共催 ヴィアトリス製薬(株)
宮崎県皮膚科医会学術講演会 (Web講習会) 6月10日(土) 18:00～19:20 MRT-micc 3階エメラルドホール ※受講は現地またはWeb	進化し続ける乾癬治療の外用療法 ～ついに完成された外用療法の3本の矢～ あたご皮ふ科 副院長 東京逋信病院 皮膚科 客員部長 江藤 隆史	15 (1.0)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 ※協和キリン(株) ☎0985-22-8801 レオファーマ(株)
第16回宮崎心臓リハビリテーションセミナー 6月13日(火) 18:45～20:30 KITENビル大会議室 ※受講は現地またはWeb	温熱刺激の心臓と血管への作用：和温療法 鹿児島大学医学部 保健学科 宮田 昌明	19 (1.5)	◇主催 宮崎心臓リハビリテーション研究会 ◇共催 トーアエイヨー(株) (株)アステム (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
宮崎県医師会産業医研修会 6月14日(水) 19:00～21:00 県医師会館	作業現場における暑熱環境対策 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治	11 (2.0)	
	生涯研修の専門研修会: 2単位		◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和5年度心臓検診 一次検討会(後期) 6月16日(金) 19:00～21:00 日向市東臼杵郡医 師会館	症例検討会 なかむら内科循環器内科 院長 中村 剛之	43 (2.0)	◇主催 日向市東臼杵郡医師会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222
延岡医学会学術講 演会 (Web講習会) 6月16日(金) 19:00～20:30 エンシティホテル 延岡 ※受講は現地また はWeb	PCSK9阻害薬の使用状況について 宮崎県立延岡病院 循環器内科 東海 達也 ACS後の積極的脂質低下療法の意義 熊本大学生命科学研究部 循環器内科学 辻田 賢一 教授	12 (0.5) 75 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 アステラス製薬(株) アムジェン(株) ◇後援 延岡内科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
宮崎県医師会産業 医研修会 6月20日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	作業現場における暑熱環境対策 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第175回宮崎心臓病 研究会 (Web講習会) 6月20日(火) 19:00～20:00 宮崎観光ホテル ※受講は現地また はWeb	なぜARNIが使われているのか？ ～高血圧から心不全まで～(仮) 日本医科大学医学研究科 循環器内科学分野 浅井 邦也 教授	74 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 ノバルティスファーマ(株) 大塚製薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
第33回宮崎心エコ ー研究会 6月21日(水) 19:00～20:15 県医師会館 ※受講は現地また はWeb	僧帽弁拡張期デザリング ～留学中のキッカケ・ボブの指導その後の変遷～ 萩原中央病院 循環器・心臓内科 顧問・教育担当医師 尾辻 豊 他	43 (1.0)	◇主催 宮崎心エコー研究会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県内科医会学 術講演会～経口GLP -1受容体作動薬の 使い方～ (Web講習会) 6月29日(木) 19:00～20:00 アートホテル宮崎 スカイタワー3F 『日向』 ※受講は現地また はWeb	このクスリで2型糖尿病の治療戦略は大きく変わる！ 東邦大学医学部 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野 教授 弘世 貴久	76 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※ノボルディスクファーマ(株) ☎0985-20-1891 MSD(株)
宮崎木曜会創立記 念学術講演会 (Web講習会) 6月29日(木) 19:30～20:30 MRTmicc 3階エ メラルドホール ※受講は現地また はWeb	ダブルバルーン内視鏡およびESDの開発から学んだこと 自治医科大学 内科学講座 主任教授 山本 博徳	11 (1.0)	◇主催 宮崎木曜会 ◇共催 ※EAファーマ(株) ☎090-9680-0780
延岡医学会学術講 演会 (Web講習会) 宮崎県北地区消化 器内視鏡懇談会(胃 がん検診研修会) 6月30日(金) 18:50～20:30 エンシティホテル 延岡 ※受講は現地また はWeb	見逃し症例から学ぶ、胃癌の見つけ方 ～基本的な観察法を含めて～ がん研有明病院 上部消化管内科 胃担当部長 平澤 俊明	7 (1.5) ⑦	◇主催 延岡医学会 ◇共催 宮崎県北地区消化器内視鏡懇談会 EAファーマ(株) エーザイ(株) ◇後援 延岡内科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
令和5年度心臓検診 二次検討会(後期) 6月30日(金) 19:00～21:00 日向市東臼杵郡医 師会館	症例検討会 なかむら内科循環器内科 院長 中村 剛之	44 (2.0)	◇主催 日向市東臼杵郡医師会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 7月5日(水) 19:00～21:00 県医師会館	今日のうつ病と対応 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月6日(木) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	石綿(アスベスト)の労働衛生環境対策 ～建築物解体等を中心に～ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月8日(土) 14:30～16:30 県医師会館 参加費：2,000円	安全快適職場に向けた職場巡視のポイントup to date 串間市民病院 院長 江藤 敏治 基礎研修・生涯研修の実地研修会：2単位	1 (2.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
佐土原地区医師会 学術講演会 (Web講習会) 7月12日(水) 19:00～20:10 シーガイアコンベン ションセンター ※受講は現地またはWeb	CKD(慢性腎臓病)の重症化予防と地域連携について 古賀総合病院 副院長・腎センター長 久永 修一	24 (1.0)	◇主催 佐土原地区医師会 ◇共催 ※協和キリン(株) ☎0985-22-8801
宮崎県医師会産業 医研修会 7月12日(水) 19:00～21:00 県医師会館	企業における受動喫煙防止対策を効果的に進めるノウ ハウ 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 7月14日(金) 19:00～21:00 県医師会館	石綿(アスベスト)の労働衛生環境対策 ～建築物解体等を中心に～ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月20日(木) 19:00～21:00 県医師会館	両立支援の実際(がんを中心に) 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院 患者支援センター長 鈴木 斎王 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和5年度第2回 医療安全管理・感 染対策講演会 7月21日(金) 17:00～18:15 宮崎大学医学部附 属病院臨床講義室 205	【専門医共通講習－医療安全(必修)：1単位】 しなやかな現場力で成功を確かなものにする 社会安全研究所 技術顧問 立教大学 名誉教授 芳賀 繁	7 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部附属 病院医療安全管理部 (連絡先) 宮崎大学医学部附属 病院医療人育成課卒 後臨床研修係 ☎0985-85-1864
令和5年度宮崎県 外科医会宮崎県整 形外科医会宮崎県 医師会労災部会合 同学会 7月22日(土) 17:00～18:00 県医師会館	障害における保険・福祉サービス ～労災や医療における義足・高次脳機能障害などの事 例を含めて～ 宮崎大学医学部附属病院 リハビリテーション部 教授 荒川 英樹	13 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会労災部会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県外科医会 宮崎県整形外科医会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月25日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	企業における受動喫煙防止対策を効果的に進めるノウ ハウ 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 7月26日(水) 14:00～16:00 県医師会館	職場のメンタルヘルスとストレスチェック制度 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月28日(金) 19:00～21:00 県医師会館	事業場のゲートキーパー活動を支援するために 産業保健相談員 産業カウンセラー 人材科学研究所 代表 工藤 智徳 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月9日(水) 19:00～21:00 県医師会館	看護・介護現場における腰痛の予防と悪化防止 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月10日(木) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	石綿(アスベスト)の労働衛生環境対策 ～建築物解体等を中心に～ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月22日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	看護・介護現場における腰痛の予防と悪化防止 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 8月23日(水) 14:00～16:00 県医師会館	職場でみられるうつ病とその対応 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月30日(水) 14:00～16:00 県医師会館	職場でのアルコール依存症に対する対策 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

5月のベストセラー（宮崎県）

集計：2023年5月1日～5月22日

1 空也十番勝負 奔れ、空也	佐 伯 泰 英	文 春 文 庫
2 街とその不確かな壁	村 上 春 樹	新 潮 社
3 102歳、一人暮らし。	石 井 哲 代	文 藝 春 秋
4 汝、星のごとく	風 良 ゆ う	講 談 社
5 クスノキの番人	東 野 圭 吾	実業之日本社文庫
6 三千円の使いかた	原 田 ひ 香	中 公 文 庫
7 くもをさがす	西 加 奈 子	河出書房新社
8 日本史を暴く	磯 田 道 史	中 公 新 書
9 変な絵	雨 穴	双 葉 社
10 我慢して生きるほど人生は長くない	鈴 木 裕 介	ア ス コ ム

明林堂書店調べ 提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方）☎(0985) 56-0868

「はまゆう随筆」原稿募集

夏の恒例となりました7, 8月号の「はまゆう随筆」を募集いたしますので奮ってご投稿をお願いいたします。毎年皆様に大変ご好評いただいております。

題 材 診療閑話, 私の趣味, 旅行記, スポーツ談義, 詩, 詩歌, 俳句など何でも結構です。なお, 本文に関連した写真・イラストなども掲載できます。

字 数 800字以内 (字数が多い場合は「はまゆう随筆」として掲載できないことがありますのでご了承ください)

締 切 令和5年6月23日(金)

- ◎ 原稿に「はまゆう随筆」である旨とタイトル, 氏名を先頭に付記してください。
- ◎ 掲載については, 広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり1編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として, 原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 日州医事は, 会員以外 (マスコミ・行政・図書館など) にも配布しています。

留意事項

- ◎ 著作権をはじめ, 法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ◎ 誹謗中傷や差別など, 他の団体, 個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ◎ 布教や政治活動など, 特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ◎ 公序良俗に反し, 法律で禁止されている行為など, その他不適切と判断されるもの
- ◎ 事実誤認, 難解, 過度な宣伝広告など

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し, 日州医事原稿専用アドレス (genko@miyazaki.med.or.jp) 宛にお送りください。もちろん, それ以外の方法 (FAX, 郵便など) でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

診療メモ



病理診断領域におけるAI

宮崎県立宮崎病院 病理診断科 丸 塚 浩 助

<医療分野とAI>

病理診断領域でエーアイといえば「チーム・バチスタの崩壊」などの映画化で一躍有名となった海堂尊氏が提唱したと自賛していたAi (autopsy imaging) でした。現在では多くの施設で行われており、低い剖検数・率にともなう死因不明・推定社会を補うには、一定の効果はあったと思われます。

標題のArtificial Intelligence (以下、AI) に関しては、医療分野にAIの導入が検討され始めたころ、AIの学習方法のひとつである深層学習Deep Learningに適した画像を使用する分野、すなわち「画像3兄弟」といわれる病理画像・放射線画像・内視鏡画像が真っ先にその標的となりました。放射線画像診断・内視鏡画像診断では薬事承認された診断補助ソフトがすでに活用されているようです。

病理診断分野では九州大学医学部学生が起業した「Medmain」が開発したAI病理画像診断支援システム「Pidport」が日本やシリコンバレーでのビジネスコンテストで優勝し注目されました。数年前、その中心人物である飯塚統氏らスタッフと話す機会があり、近い将来実現するやも知れないAI病理診断に期待と不安を抱きました。

<病理診断支援としてのAI診断への期待>

期待のひとつが日本における病理診断領域の現状打開です。慢性的な病理医不足から脱却できない状況では、病理分野での医師の働き方改革は実現できそうにありません。

2022年現在の全国の病理専門医数は2,726名(実働2,500名程度といわれています)であり、

宮崎県下には病理専門医23名がおり、10病院に常勤しています。

しかし、日本全国で400床以上の急性期病院706病院中、常勤病理医不在の病院が32%もあり、更に常勤病理医が勤務する病院でも約44%が「ひとり病理医」病院となっているようです。上記の宮崎県下で常勤病理医のいる10施設のうち、宮崎大学・県立宮崎病院以外はひとり病理医です。これらの病院では複数の病理医がいないとできないダブルチェックがなされずに最終診断せざるを得ない状況にあります。そのため病理医の精神的なストレスは大きく、病理医の診断支援のためにもAI病理診断支援プログラムの研究開発が必要とされ、このダブルチェックのためにもこのプログラムを使用しているという動きになってきています。それにもなって日本病理学会は、2021年に「人工知能AIと病理医について」のステートメントを出し、2022年には「病理診断支援AIの手引き」を公表しています。病理医を増やそうという方策は置き去りにして！

<AI病理診断の不安1>

不安要素のひとつはAI病理診断に至るまでのプロセスです。AI病理診断の大元になるのが画像のデジタル化とそのデータベース(DB)化が必要です。画像のデジタル化にはガラススライドをスキャンし、デジタル画像を作成するVirtual slide/Whole slide imaging (VS/WSI) 作成装置が必要ですが、この10年で性能も作成速度も目覚ましい進歩を遂げ、薬事承認されている機器もいくつか出てきています。DBに関しては日本病理学会がAMED (Japan Agency for

Medical Research and Development) 委託事業から引き続き継続研究していた「広く研究利用可能な病理画像DBの構築と公開」を主導し、深層学習の基礎となる16万件の膨大な病理診断画像のDBを構築しており、国内外の研究機関・企業との共同研究に利用できるようにしています。宮崎大学病理部も国内の選ばれし25施設のひとつとしてデータの収集と提供をしており、病理診断分野でのAI発展に寄与できれば極めて誇らしいことと思われれます。

しかし、この先、各医療機関が自前でVS/WSI作成機器・解析装置のコスト(対象となる検体は県立宮崎病院だけで年間5,000件、約3万スライドあり、これに対応できるVS/WSI作成装置のみで数千万円します)を容認できるのか、それ以前に切り出し・スライド標本作製方法などの統一やデータの保管方法等々、難題は山積しており、実現はまだまだ先かなと感じています。

<AI病理診断の不安2>

もうひとつの不安要素はその精度・信頼性ですが、深層学習を積み重ねて行けば、日々進化・向上していくものと思われれます。しかし問題なのはAI診断を受け取る側で、出された診断を100%信じることができるのかです。これに関しては現状も同じで、我々人間病理医が行った病理診断が100%信用できるかという疑問です。(我々としては嬉しくないことではありますが…) 個々の病理医にも経験・能力差はあり、その日の体調にも依るかもしれません。私の消化器病理の師匠である某先生は二日酔いの時は診断しない！と言われていました(ほぼ毎日深酒されているのに！)

病理診断は顕微鏡でガラススライドを見るのみではなく、臨床情報(臨床診断・検査所見・経過)、肉眼所見(内視鏡所見など)を統合して行われます。私は「顔の見える病理医」を主眼にしており、診断の精度・信頼性においては病理医と臨床医とのコミュニケーションが最も大事な要素と考えていますが、AI病理診断ではそれがなくなるのではないかと危惧しております。

2023年4月末、人工知能学会がChatGPTなどの大規模生成モデルAIの使用に関して、「(前略)出力を鵜呑みにせず、長所・短所を理解したうえで利用するのが大切だ」との声明文を発表しました。まさにそのとおりだと思うとともに、もしかして、これは現在の病理診断にも将来のAI病理診断を使用する側・受け取る側にも言えることではないかと考えさせられました。

<病理診断は医療行為>

1989年に厚生省の疑義照会にて「病理診断」が「医療行為」として認められました。

AI病理診断が実用化されたとしても、医療行為である病理診断では最終的には病理医の最終承認が必要となることでしょう。しかし、先に述べたように病理医もさまざまでAI病理診断を真面目に検証する者もいれば、blind markする者もいるでしょう。そのような状況になれば、病理医すべてが真摯に取り組むことが必要だと思えます。

<最後に>

宮崎県下の病理診断数は年間約10万件と推計されます(全国で約1,200万件(細胞診は1,500万件)を単純に人口比で算出)。そのうち宮崎大学の専門医研修関連施設並びに病理学講座から出張診断している検査センターなどの病理診断総数は多く見積もっても年間約4万件です。残りの約6万件は県外の衛生検査所へ流出していることになります。上述したように病理診断は臨床医と病理医とのコミュニケーションの上に成り立つものであるため、AI病理診断が導入されたとしても、近場で気軽に話せる病理医として、『宮崎の診断は宮崎で！』行えるように精進してまいりたいと思います。

参考文献:

宇崎崎宏・森一郎編集 特集 AIとデジタルパソロジー
病理と臨床 39(8), 2021

佐々木毅, 病理診断領域におけるAIプログラムの現状
と展望 モダンメディア 68(3):8-14, 2022

宮大医学部学生のページ



令和5年新歓委員会からご報告

宮崎大学医学部 医学科4年

ふじ さき たい し
藤 崎 泰 詞

新型コロナウイルスによる制限が次第に緩和され、5月には5類に引き下げられます。新型コロナウイルスが流行する以前の日常生活が戻ってくると思うと、とても嬉しく思います。今年度は医学科101名、看護学科60名の新入生が入学し、多くの新入生が4月8日の新歓オリエンテーション、4月12日のオレンジパーク、4月16日の新歓BBQに参加してくれて新入生を歓迎することができました。簡単ではありますが、今年度の新歓で実施したこれらのイベントについて紹介させていただきます。

最初のイベントとして、一昨年はオンライン上の開催、昨年は新入生との対面が可能でありながらも半日の実施となった新歓オリエンテーションを、今年は新型コロナウイルスが流行する前に行っていたような形で実施することができました。講義棟の303教室を利用して新入生だけでなく在學生も多く集まり、みんなで盛り上がることができました。まず、部活動紹介を行い、30を超える部活動・サークルに事前にビ

ラやムービーを用意してもらい新入生に部活ごとの雰囲気や新歓期間のスケジュールをアピールしてもらいました。

また、寸劇やアカペラ、マイクを使って新入生の前で挨拶する部活・サークルもあり、対面ならではのよさが十分に出ていたと思います。

リサイクル企画では卒業生からいただいた状態のよい家具を40点ほど用意し、新入生が気に入った家具をその場で見て、希望家具のアンケートによって抽選で当選者を決めるという形を取りました。

座談会企画は4年ぶりに飲食ありでの開催となり、食堂で行いました。新入生や幹部学年（医学科4年、看護学科2年）の在學生に弁当とお茶を配り、新入生と話をしながら食事をすることができました。新入生の悩みや宮大医学部についてなど、多方面にわたって色々な話をすることができ、新入生同士だけでなく新入生と在學生とのつながりもできる有意義なイベントとなりました。



幹部学年（医学科4年）の集合写真

最後に新入生自己紹介企画を行いました。新入生に5～6人ずつ前に出てきてもらい、名前、出身地・出身高校、中高の部活、気になっている部活、好きな〇〇の5つの質問に答えてもらいました。新入生の皆さんは緊張した面持ちでしたが、多くの在学生の前で元気な声で答えてくれて盛り上がる事ができたと思います。

全体としては予定していた時刻よりも早く終わることができ、大変満足しています。来年の新歓幹部の皆さんには、今年の新歓オリエンテーションと同じようにするのではなく彼らしいイベントにしてくれることを祈っています。

次に2つ目のオレンジパークについて紹介させていただきます。過去3年間は新型コロナウイルスの影響で開催できていませんでしたが、今年はコロナ感染者数が減少傾向にあり、感染対策を講じることで開催することができました。オレンジパークとは清武ホテルで行われ、梅田学園さんと看護学科幹部の在学生在が協力して看護学科新入生を歓迎するイベントです。豪華なバイキング形式の食事をとりながら、テーブルごとに会話が盛り上がっていました。また、最後に豪華賞品をかけて早飲み対決やビンゴゲームを実施し、とても楽しい雰囲気の中で私が新入生でこのような歓迎を受けたら嬉しいだろうと感じました。バイキングや景品を用意していただいた梅田学園さんありがとうございました。

最後に新歓BBQを紹介させていただきます。昨年と同様に実施できた新歓BBQは、今年も宮崎ドライビングスクールさんに協賛していただきました。天気にも恵まれ宮崎らしい青空の下、新入生のために在生がお肉を焼いたり、カレーを作るなどの準備を行い、新入生と交流しながらBBQを楽しむことができました。食事の後は、豪華賞品をかけて〇×ゲームやイントロクイズ、ブラックジャックなどのゲームを実施し、景品をもらった新入生はとても嬉しそうな表情でした。新入生のお肉・カレーや景品は宮崎ドライビングスクールさんに用意していただきました。本当にありがとうございました。

新歓オリエンテーション翌日の4月9日から各部活による新歓期間が始まりました。新型コロナウイルス感染を防ぐためにマスクを外して歓談する相手は、同卓の5名程度に抑えること、22時までに解散をするなど、さまざまな規則を

設けました。新歓期間は4月28日で終了でしたが、新入生・在学生の協力もあり、3週間の新歓を終えることができました。

新入生の皆さんはこれから学生生活を共にする同期と新たな出会いがあり、仲を深めることができたのではないかと思います。

上記に述べたとおり、今年の新歓はコロナ流行前と同じような形で行うことができました。私が入学したころはコロナが流行していた時期であったため、通常の新歓を経験したことがなく再現するのは大変でしたが、先輩からアドバイスをいただいたり、同期に支えられて実施することができました。本当にありがとうございました。

今後の学祭などのイベントも幹部学年を中心にみんなで力を合わせて成功できればと思っています。

以上、拙い文章となりましたが新歓委員からのご報告とさせていただきます。



オレンジパークの様子



新歓 BBQ の様子

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。か、所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
4月17日	・第54回全国学校保健・学校医大会「分科会」における研究発表の演題募集について（ご依頼） ・風しんの第5期の定期接種に係る委託料の改定について ・紹介受診重点医療機関啓発ポスター及びリーフレットについて ・労働安全衛生規則第592条の8等で定める有害性等の掲示内容について（情報提供） ・第13回産科医療補償制度再発防止に関する報告書の公表について ・共済組合員証の無効通知について ・令和5年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）について
4月21日	・「有毒植物による食中毒防止の徹底について」の送付について ・高齢者施設等における令和5年度の新型コロナワクチン接種について ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更による入院調整体制の移行に向けた「医療機関等情報支援システム（G-MIS）」の改修等について ・「新型コロナウイルス感染症に係るワクチンに関する予防接種後健康状況調査の実施について」の一部改正について ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更後の療養期間の考え方等について（令和5年5月8日以降の取扱いに関する事前の情報提供） ・出産育児一時金等の受取代理制度の届出について（令和5年度） ・「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイダンス」の一部改訂について ・全国健康保険協会が実施する生活習慣病にかかる重症化予防事業の推進について ・出入国在留管理庁「在留カード等読取アプリケーション」について ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部改正及び精神保健福祉関係通知等について ・令和5年度外来機能報告対象医療機関となる無床診療所について
4月25日	・第28回日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会の開催について ・「重篤副作用疾患別対応マニュアル」のホームページ掲載について ・個人サンプリング法による作業環境測定及びその結果の評価に関するガイドラインの一部改正について ・日本准看護師連絡協議会「オンデマンド研修」のご案内 ・ラゲブリオカプセル200mgの使用期限の取扱いについて ・人免疫グロブリン製剤の限定出荷と今後の見込みについて ・黄熱の予防接種実施機関の指定について ・「介護支援専門員資質向上事業の実施について」の一部改正等について」等の送付について ・令和5年度介護事業実態調査（介護事業経営実態調査）へのご協力依頼について ・オンライン資格確認の災害時、システム障害時等の資格確認方法について ・第14次労働災害防止計画に基づく「安全衛生対策におけるDXの推進」について ・第14次労働災害防止計画の推進について ・高齢者施設等における感染対策等について ・政府対策本部廃止後の臨時的医療施設の取扱い等について

送付日	文 書 名
4月25日	・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う啓発資材について（第二報） ・新型コロナウイルス感染症対応に係るパルスオキシメータの介護老人保健施設等への無償譲渡について ・「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて」にかかる疑義解釈資料の送付について ・ゴールデンウィーク（5/3～5/8）における副作用等報告、不具合等報告及び予防接種後副反応疑い報告に係る受付並びに取扱い等について
4月28日	・【県立延岡病院】計画停電に伴う診療停止について（第2報） ・令和5年度第1回医療政策研修会の開催について ・2023年度 認知症短期集中リハビリテーション研修（医師対象）【Webによる研修】の開催について（情報提供） ・日本医師会及び警察庁サイバー警察局の連携に関する覚書締結について ・騒音障害防止のためのガイドラインの改訂について ・「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う医療提供体制の移行及び公費支援の具体的内容について」の改正について（Q&Aの追加） ・新型コロナウイルス感染症に係る医療提供体制の状況把握のための医療機関等情報支援システム（G-MIS）への入力等について（協力依頼） ・医療用物資の国備蓄品の売却について（その2）
5月2日	・新型コロナウイルス感染症の変異株及び新興感染症に対する医療提供体制調整業務への補助について ・新型コロナウイルス感染症対応人材ネットワーク事業に関する補助について ・令和5年度COVID-19JMAT保険の一部改訂について ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」の改訂について（13版） ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）の改訂について（17版） ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に係る患者及び病原体のサーベイランス体制の変更について ・「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」の改正について（周知依頼） ・ファイザー社ワクチン及びモデルナ社ワクチンの有効期限の取扱いについて ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令の一部を改正する政令等の公布について ・ゴールデンウィークにおける新型コロナウイルス感染症の検査体制等について ・「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて」にかかる疑義解釈資料の送付について（その2） ・後期高齢者医療における窓口負担割合の見直しに伴う診療報酬明細書の計算事例の変更について（新型コロナウイルス感染症の位置づけ変更に伴う変更） ・「5類感染症への移行後の学校における新型コロナウイルス感染症対策について（通知）」及び「学校保健安全法施行規則の一部改正について（通知）」の周知について（依頼） ・学校教育活動等における熱中症事故の防止について（周知依頼） ・「医療機関等における医療用物資の緊急時の対応について」の一部改正について ・イエローグリーンライトアップ全国キャンペーンのお願いについて ・ミフェプリストン及びミソプロストール製剤の使用にあたっての留意事項について

送付日	文 書 名
5月9日	・「病原微生物検出情報」の送付について ・『労災診療費算定基準（令和4年4月1日現在）』について ・「令和5年度歯と口の健康週間」について ・令和5年度における「データ提出加算（A245）」の取扱いについて ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その48）」の送付について ・有機溶剤中毒予防規則等の一部を改正する省令の施行について（情報提供） ・「厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム」（令和5年4月公開）のダウンロードのお願い（情報提供） ・医療法施行規則の一部を改正する省令の施行等について（医療機能情報提供制度） ・令和5年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について（通知） ・新型コロナウイルス感染症に係る医療提供体制の状況把握のための医療機関等情報支援システム（G-MIS）への入力等について（協力依頼） ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令の一部を改正する政令等の公布について（通知） ・ラゲブリオカプセルの承認条件の取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けの変更に伴う医療提供体制について（通知） ・「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」の一部改正について ・改正後の感染症法に基づく新型コロナウイルス感染症に関する自費検査を提供する者に対する協力要請等について（一部改正） ・「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の廃止について（周知依頼） ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令及び新型コロナウイルス感染症のまん延を防止するため新型インフルエンザ等対策特別措置法第四十五条第二項の規定による要請を行うことが特に必要な施設等を廃止する件の公布について
5月12日	・「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う医療提供体制の移行及び公費支援の具体的内容について」の改正について（Q&Aの追加等） ・新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いにおける実施状況調査票の更新について（周知） ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う透析患者の適切な医療提供体制の確保について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準（一部改正）及び発生動向調査事業実施要綱の一部改正等について ・「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う人員基準等に関する臨時的な取扱いについて」の送付について ・通いの場等における感染対策等について ・「医療機関等情報支援システム（G-MIS）」操作マニュアル等について ・高齢者施設等における令和5年度の新型コロナワクチン接種の実施と進捗状況の実態調査への依頼について ・「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う避難所における新型コロナウイルス感染症の感染対策等について」及び「避難所におけるマスク着用等の考え方について」について ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の対応について（周知広報） ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更を踏まえた外国人患者受入れに関する体制の整備について（周知・協力依頼） ・「保育所における感染症対策ガイドライン」の一部改定について

送付日	文 書 名
5月12日	・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う新型コロナウイルス感染症に係る労災診療費の臨時的な取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う母子保健医療対策総合支援事業（令和4年度第二次補正予算分）の国庫補助の取扱いについて ・令和5年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）について（令和5年5月8日以降の取扱いについて） ・ラゲブリオカプセルの承認条件の取扱いについて ・「ICT等を活用した介護認定審査会の開催について」等について ・第8次医療計画及び第9期介護保険事業（支援）計画の策定に係る医療療養病床を有する医療機関からの転換意向の把握について ・療養病床等の人員配置標準に係る経過措置の有効期限について ・令和5年5月5日に発生した地震に伴うオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について ・令和5年石川県能登地方を震源とする地震にかかる災害の被災者に係る被保険者証等の提示等について ・令和5年石川県能登地方を震源とする地震による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和5年石川県能登地方を震源とする地震による災害に係る介護報酬等の取扱いについて ・令和5年石川県能登地方を震源とする地震による災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・令和5年石川県能登地方を震源とする地震にかかる災害の被災者に係る公費負担医療の取扱いについて ・多剤耐性で重篤な感染症を引き起こす恐れのあるカンジダ・アウリス（Candida auris）について（情報提供及び依頼）
5月16日	・新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所、養成施設の対応及び実習施設への周知事項について ・視能訓練士学校養成所指定規則第2条第1項第10号に規定する適当な実習指導者について ・義肢装具士学校養成所指定規則第4条第1項第10号に規定する適当な実習指導者について ・紹介受診重点医療機関啓発ポスター及びリーフレットについて ・医療法施行規則の一部を改正する省令の施行等について
5月17日	・子どもの誤飲事故防止に向けた啓発活動へのご協力をお願い
5月19日	・検査料の点数の取扱いについて ・アンジオテンシン変換酵素阻害剤、アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤含有製剤、アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害剤及び直接的レニン阻害剤の添付文書等に記載する「使用上の注意」の改訂に係る患者向け資材の活用について ・「使用上の注意」の改訂について ・「令和5年度新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業の実施について」の一部改正について（高齢者施設等における施設内療養の補助期間等の一部見直し） ・麻しんの国内伝播事例の増加に伴う注意喚起について ・新型コロナウイルス感染症の院内感染に関する保健所への報告及び相談について ・医療機関に対するG-MISへの必要情報の入力依頼について（通知） ・宮崎県における外来対応医療機関の指定要領について ・第54回全国学校保健・学校医大会「分科会」における研究発表の演題募集期間延長について ・「身体障害者補助犬同伴の受入れのための啓発リーフレット」の周知について

送付日	文 書 名
5月23日	・「臓器移植及び造血幹細胞移植における新型コロナウイルス感染症への対応について」および「臓器移植における新型コロナウイルス感染症への対応について」の廃止について ・「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う医療提供体制の移行及び公費支援の具体的内容について」の改正について（Q & Aの追加）
5月26日	・「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて」にかかる疑義解釈資料の送付について（その3） ・「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて」にかかる疑義解釈資料の送付について（その4） ・厚生労働省「看護師の特定行為研修の修了者に関する医師との協働の事例集」について（周知依頼） ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・トルコ・シリア地震に対するお礼並びにご報告 ・PMDAの電子報告システム（報告受付サイト）を用いた医療関係者からの副作用等報告のお願いについて ・外来機能報告における協議の場の進め方について ・へき地等において特例的に医師が常駐しないオンライン診療のための診療所の開設について ・「国民健康保険保健事業の実施計画（データヘルス計画）策定の手引き」の改訂について ・療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等の一部改正等について ・日本製薬団体連合会による「医薬品供給状況にかかる調査（2023年4月）」の結果の公表および今後の調査結果の公開先のご案内について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その49）」の送付について ・日本看護協会「感染管理認定看護師養成推進事業」について

お知らせ

令和5年度 第80回宮崎県医師会総会

と き 令和5年6月17日(土) 16:30

ところ 宮崎県医師会館 2階研修室

第80回総会は、出席者を代議員などに限っての開催とさせていただきます。ご了承ください。

次 第

1 開 会

2 物故会員に対する弔意黙祷

3 県医師会長挨拶

4 来賓祝辞及び来賓紹介

5 各種表彰祝賀

6 閉 会

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい...

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryu-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真，その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介，読みどころ，執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真，書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」，新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する，カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で，日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただく場合があります。

■日州医事は，各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には，修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ，法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など，他の団体，個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など，特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し，法律で禁止されている行為など，その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認，難解，過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき



て、余裕をもって現地着。少しいいホテルへ泊まります。コロナ感染の収束にともなう、特に4月からは子どもらの進学先の関西（大阪から京都、兵庫）へ行く機会が増えました。

さて儉約家は浪費家より不幸になることが多いとの海外の報告もあるようです。仕事に励んで、幸福になる機会を喪失したり、勤労の結果として貯蓄があっても高齢になって使い切れないとか。しかし、まあ仕事に生きがいを感じる日本人には当てはまらないかもしれません。

河野会長の「医師の働き方改革」（今号P3）ではありませんが、自分なりのライフ・ワークバランスを探っていきたいと思います。開業医としては、スタッフの働き方も気になります。平成時代の学生は土日休みが当たり前であり、医療機関での土曜勤務に抵抗があるとの話も聞きます。当院ではスタッフの有給取得率98.3%（2022年度）、104.2%（2021年度）。まずまずでしょうか、更に今年は秋休みも企画しております。（菊池）

* * * * *

近年のAI技術の進化は目まぐるしい。最近、大規模言語モデルGPT-4に関連する記事を多く目にする。米国医師国家試験であるUSMLEの試験問題にGPT-4を使用して解いてみたところ、合格点を20点以上上回ったことが報告されている。これは、以前のGPT-3.5と比較してキャリブレーション能力が飛躍的に向上し、正解予測能力が大幅に向上したことが要因だ。囲碁や将棋では、AIに勝てないことが当たり前となったが、医療においても、すでにシンギュラリティーは一部訪れている。医は仁術なりと言われるが、知識ではAIで勝てない時代に、「仁」の質が医師に問われるのではないだろうか。（植田）

* * *

5月中旬、福岡で開催された日本耳鼻咽喉科学会に参加しました。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行後、初の学会参加でした。オンラインでの参加も可能でしたが、現地参加者も多くコロナ禍以前に戻ったような印象でした。旧知の先生に会うのも久しぶりで、いろいろな情報交換ができました。ここ数年、オンラインでの参加にすっかり慣れてしまっていました。旅行気分も味わえる現地参加もいいものです。（長井）

* * *

ポケモンのスクラブで診察しました。一色でさりげなくキャラクターの刺繍があるだけですが、お子さんは目ざとく見つけ話が弾みます。コロナ禍もあり鼻腔に綿棒を入れ検査をすることが多いため、かかりつけのお子さんたちから怖がられていましたが、少し和緩したかもしれません。スタッフにも好評でした。現在は販売していないので再販を期待しています。（横山）

日本皮膚科学会や日本泌尿器科学会、性感染症学会、フットケア・足病医学会などに所属しております。4名の専門医、認定医を維持するために、（特に機構認定専門医になってから）四苦八苦しております。以前は土曜午後の診療後、夕方に宮崎を出発、夜に開催地着、日曜に学会出席、終了後にすぐに帰宅の面白みのないスケジュールでしたが、最近は土曜を休診にし

臨床実習が始まってから、早くも全体の半分の診療科での実習が終了しました。すべての科を回り終わったときに興味のある科が絞られているだろうと思っていましたが、それぞれの科を知れば知るほど決めきれず、どの科も奥が深く興味深いです。残りの半分の診療科での実習も楽しみです。コロナの感染状況が落ち着き、実習で患者さんの問診や診察を実施できるようになりました。患者さんへの感謝の気持ちを忘れず、残りの実習も頑張りたいです。（山本）

* * *

このたび、宮崎県医師会広報委員会の学生委員となりました、宮崎大学医学部4年の境笙太郎と申します。校正の仕事について、これまでに経験がなく不安な気持ちで一杯ではありますが、委員の医師の先生方や学部の先輩方にご指導いただきながら成長できたと考えております。先日広報委員会に参加させていただき、医師の先生方から、医療現場の様子や働き方についてのお話を伺い、大変勉強になりました。これからも活動を通じて医療に対する見聞を広めていきたいと考えております。これからよろしくお願いたします。（境）

* * *

バリアフリーにしているためか、この時期になると毎朝院内に忍び込んだダンゴムシの除去をしなければならず閉口します。ダンゴムシの天敵で駆除できないものかGoogleで調べてみるとヘビ、トカゲ、ムカデ、カエル。うっ、ダンゴムシかわいいです。（佐々木）

今月のトピックス

日州医談 宮崎県における医師会立看護学校の現状

宮崎県における医師会立看護学校の現状について宮崎県医師会の赤須郁太郎常任理事に解説していただきました。准看護師は診療所を中心に多く活躍しており、現場に欠かせない人材です。昨今の経済事情を考えると比較的容易につける医療職であり、人気が出てもおかしくないように思いますが、やはり3Kのイメージのためなのか他業種にとられているのが現状のようです。 4 ページ

身近なお困りごと相談室 第21回 試用期間と本採用拒否について

米国などではアマゾンやアップル、テスラの例のように数万人規模のリストラを比較的容易にできる法体系になっており、これが労働市場の活性化や産業のイノベーションにつながっているとされています。一方、日本では、採用側からみれば労働者側に有利な法律となっており、解雇や減俸などを行うのには高いハードルがあります。そのため、職員の採用を慎重にならざるを得ない状況です。 14 ページ

診療メモ 病理診断領域におけるAI

病理診断領域におけるAIについて県立宮崎病院病理診断科の丸塚浩助先生に教えていただきました。昨今話題のチャットGPTなどAIの進歩はめざましく、うまく使えば人類に計り知れない幸福な未来をもたらしてくれるかもしれません。一方でITに弱くては生き残っていきません。子どもたちの教育も数学より、英語よりIT教育に力を入れていくべきなのかもしれません。 56 ページ

宮大医学部学生のページ 令和5年新歓委員会からご報告

新歓行事について医学部4年生の藤崎泰詞さんに報告してもらいました。コロナ前の日常が戻ってきつつあることは喜ばしいことです。しかし小学校の給食などはいまだに前を向いて個食のようです。早く机を向かい合わせで食べる楽しさを味わってほしいものです。清山市長、よろしく頼みます。 58 ページ

日 州 医 事 第886号(令和5年6月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 稲倉 琢也

副 委 員 長 菊池 英維

委 員 植田 雄一, 高橋 典子, 石田 康行,
長井 慎成, 早川 学, 横山 晃子

学 生 委 員 鍛冶川雄登, 山本 樹, 境 笙太郎, 金城 由歩

担当副会長 山村 善教

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)